新京日日新聞
夕刊 四月二十二日
發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠 編輯人 松本…勇 印刷人 永越內之介

台灣に大激震襲來
死者二千五百廿五名
重輕傷判明の分五千七百七十名
死傷大部分は本島人

(台北廿二日國通)二十一朝臺灣台中、新竹州を中心に激震あり、現在までに判明した被害左の如し

△臺中州午後三時迄判明の分
死者一千四百七十八名、重輕傷四千三十六名、家屋全壞七千七百五十一戶、同半壞三千四十六戶

△新竹午後七時まで判明の分
死者一千四十七名、重輕傷一千七百三十四名、家屋全壞四千三百七十一戶、同半壞二千四百九十五戶

(臺北廿一日發國通)死傷數千に達する臺灣大地震の死傷者の大部分は本島人である

飛行隊出動

【臺北廿二日發國通】電信電話不通のため最も被害甚大な臺中、新竹方面の狀況詳細ならざるため總督府よりの依賴により屛東飛行聯隊は義勇號以下出動長時間に亘り新竹臺中兩州を調査中である

現場はさながら生地獄

【臺北廿二日發國通】被害地は夜と共に生地獄を現出し被害の殊に激しい臺中、豐原、大甲都方面の家屋は殆ど全壞又は大破して居るので公學校雨天体操場には負傷者はトラックやリヤカー、牛馬によつて運ばれ、家を失つた罹災民は勿論生殘つた住民は路上や並木の下に莚や戶板等を敷いて不安に覆はれ、負傷者を竹林の中に背負ひ込み看護するもの、家族中から多數の負傷者を出し悲嘆にくれて居るものさては父を呼び子を求める悲痛な叫聲など目もあてられぬ慘狀を呈して居る

救護意の如くならず 餘震に島民は兢々

【臺北國通】二十一日午後十時迄に判明せる死者總數は二千七百名を越へ負傷者九千更に罹災者總數は十數萬人に達する模樣である、尙被害地の大部分は市街を離れた交通不便の地に在るため罹災者の救護も充分意の如くならず更に餘震が頻々として襲來して居るため島民は戰々兢々の有樣である

救濟方針は決定
中川台灣總督語る

【臺北廿二日發國通】總督府は罹災救濟の爲廿一日午後緊急主腦部會議の結果
一、義捐金捻出
一、災害程度による租稅減免
一、小濱內務局長を現地に派遣救濟復興事業計畫確立のため調査せしむる
に決定した尙經常費を支出救濟する必要に應じ隨時豫備金の支出する方針である、中川臺灣總督は語る

二千名以上の死者を出したことは眞に遺憾である、早速人心の安定を圖り救濟資金として第二豫備金より一千六百萬圓を融通することにする、今度の地震は明治卅九年三月十七日嘉義にあつた大地震よりも大きなもので、此時は家屋の倒壞一萬九百七十八であつたが、今回はそれ以上である

天皇陛下 御軫念遊ばさる

【東京國通】臺灣地方激震の公報は二十一日午後九時半頃拓務省より宮內省に報告があつたので當直の大金侍從より直に畏き邊りの叡聞に達したが、その被害甚大に 天皇陛下には痛く御軫念遊ばされ被害實情判明の上は何分か御救恤仰出さるゝやの趣きに漏れ承る

新竹臺北間 交通機關杜絕

【長崎國通】臺北無電發情報によれば臺南より新竹までの列車は通じてゐるが新竹、臺北間列車は不通であり、その他交通機關も一切杜絕し僅かに臺南、新竹間に電信一回線が通じてゐるのみである

大正十一年來の激震

【臺北廿一日發國通】今回の激震は大正十一年九月十五日以來の大地震で倒壞家屋の多かつたことは內地の如く木造で無く土で固めたものが多かつた結果に因るものである、又多數死傷者を出したのは早曉の事であり慌てて戶外に飛び出した爲と見られてゐる

糖業方面は被害少し

【東京國通】今回の地震に就て糖業聯合會主事は語る
臺灣鹽水港、大日本其他各社の砂糖畑並に工場は主として臺灣南方に散在し地震に襲はれた新竹州、臺中州には僅かに帝國製糖、昭和製糖の工場があるだけで之等の工場も時期からみると既に黍を絞つて砂糖に精製し、工場の倉庫內か或は內地に積出しを行ひつゝあるから直接砂糖の市場供給に大きな影響を與へるものとは考へられない

拓務省一兩日中に 救濟復舊協議
―廿三日閣議に詳細報告―

【東京國通】臺灣全島に亘る稀有の大地震に關しては廿一日夕刻迄に拓務省に詳細報告が出揃はないが、拓務省は今明日中に省議を開き救濟復舊に就き協議し之が措置に萬全を期する方針である、而して兒玉拓相は廿三日の閣議に於て被害實情を詳細報告機急對策に就き諒解を求め更に今後の救濟復興策に就き諒解を求め、更に救濟復興策につき協議する豫定である

中央氣象台發表

【東京國通】廿一日朝臺灣の激震に關し中央氣象臺では左の如く發表した
本日午前八時二分頃(東京時間)臺灣の全島に亘り此處數年來稀有の强い地震を感じた、臺北、臺中は强震であり臺南、阿里山は弱震であり新竹州、臺中洲方面は震動最も激烈で可なりの被害があつたやうである、尙臺灣では明治になつてからは明治卅九年三月嘉義地方に大地震があり、死者千三百名を生じた事あり、最近では昭和五年十二月臺中州方面及び九年八月宣蘭方面に何れも被害を生ずる程の地震があつた

滿ソ國境紛爭防止委員會
近く設置の運び

【東京國通】滿ソ國境に於ける地方的紛爭解決の爲國境紛爭防止委員會を設置することについてはソヴイエート、滿洲兩國側とも同意してゐるので近くソ聯側と交涉して設置される事になつたが、同委員會は大體滿洲國側は新京に、ソ聯側はハバロフスクに常設し紛爭の惹起されたる場合に直ちに之が解決に當る事になるが、同委員會には日本側(陸軍)よりも委員が加はる事になる

內政部長就任は 當分靜觀の上
＝黃、汪兩氏會見＝

【南京廿一日發國通】汪精衛氏は廿日南京より飛行機で杭州に飛び省政府に於て莫干山より出迎への黃郛氏と會見し最近の時局に就き意見の交換を行つた上、黃郛氏の內政部長速急就任方を督促したが黃郛氏はそれに對し
一、蔣介石氏及び黨部の對日態度は誠實を缺き支那將來の政局に暗澹たる影を投げてゐること
一、最近歐米派分子が頻りに暗躍を開始してゐる爲此儘直ちに出馬するもその制肘を受け煩雜に堪へざること
一、財政の極度の逼迫は重要施政の實行を阻むこと
等の事實を擧げて困難なる事情を詳述し尙當分靜觀態度の已む無き事の諒解を求めたと
ある

林陸相の渡滿 五月下旬

【東京國通】林陸相は政府に於ける機關說問題、內閣審議會問題も大體決定を見たので愈々滿洲視察に赴く事に決定し、最初の豫定を變更して五月下旬東京を出發する事となつた、尙旅程計畫は三、四週間の豫定である

けふ午後四時から 招魂祭打合せ

來る三十日忠靈顯彰會主催佐野警備司令官委員長となつて盛大に擧行される春季招魂祭最後的打合せは二十二日午後四時から關東局會議室において開催されたが本年より春秋二季に大祭が行はれ時に季は靖國神社の大祭に倣ひ忠靈塔境內には道場、舞台等を設け奉納武術試合、奉納角力、藝者の手踊り、夜店、その他の催しあり、町內には雪洞を吊し、夜は花火を打ちあげて內地のお祭情景をそのまゝ滿

久野友則氏着任

新京滿鐵醫院內科へ九大醫學士久野友則氏が配屬され二十二日着任挨拶に來社した

宮城調明氏 錦縣へ

奉天鐵路局錦縣鐵路辦事處總務長を命ぜられた宮城調明氏は二十一日赴任挨拶に來社

吉澤參事官 送別宴賑ふ

アメリカ大使館參事官に榮轉の前新京總領事吉澤清次郎氏を送る地方事務所主催の送別晚餐會は廿一日午後六時四十五分よりヤマトホテルに於て行はれ市民各階層百八十名の出席あり新京市民に馴染み深き同氏を送るに相應しき盛會であつた(定刻より遲れること十五分)

日本御最後の皇帝陛下
けふ一日は 離宮で御靜養
＝湯澤知事等伺候＝

【神戶國通】須磨浦の風光を俯瞰し、みどりしたゝる武庫離宮に神戶御滯在の第一夜をお過し遊ばされた皇帝陛下には、愈々明廿三日午前十時神戶港から軍艦比叡に御乘艦御歸國の途につかせられるので廿二日は、終日武庫離宮で御靜養遊ばされた、尙此日湯澤兵庫縣知事は午前十一時武庫離宮に伺候、上表並に縣からの獻上品たる銀製御朱印船の置物及傳獻品を獻上、續いて勝田神戶市長も伺候して同樣上表並に市獻上品蘭花御紋章入七寶大花瓶を獻上したが、午後二時より同四時まで宮中席次御五階以上の奉迎有資格者達は續々離宮御車寄まで參入御機嫌奉伺の記帳をなした

「居留滿人を よろしく頼む」
―陛下の御言葉―

【神戶國通】湯澤兵庫縣知事勝田神戶市長は廿一日午後三時武庫離宮に參入陛下に拜謁を仰付られ奉迎の辭を言上したがその時陛下には阪神地方に多數滿人が居留してゐる事を聞し召され之等滿人の事情を種々御下問の後「よろしく頼む」との御言葉を賜り兩氏は陛下の御仁慈深きに感激して退出した

その日く

皇帝陛下、あす愈よ日本を離れさせ給ふ、我等はけふ御訪…還の恙なきを祈念

□

パナマ運河の强化に屆備外人を排擊の案、疑心暗鬼の好標本

□

久し振りに台灣に一揺れ、マルサス人口論はどうも日本にのみひいき勝ち

□

本社が提唱の『時間嚴守』愈よ實行の途へ！手綱をひきしめて

□

ロータリーでは遲參者に赤帽を冠せてゐたところもある、懲罰方法を考慮しては

人事往來

▲弓場常太郎氏(奉天會社員)二十一日午後來京名古屋ホテル投宿
▲赤塚眞淸氏(大同產業會社總務課長)同
▲大川光三氏(大阪府參事會員)同
▲宮崎太一氏(和歌山縣農務課長)同
▲朝倉金彥氏(同農事試驗長)同
△成川善太郎氏(同縣會議員)同
▲吉益匡賢氏(同)同
▲中尾太一氏(同)同
▲津田中將(駐滿海軍部司令官)二十二日午後歸京
▲山口大佐(同司令部附)同
▲山田少佐(同副官)同
▲威式毅氏(民政部大臣)同
▲原田大佐(關東軍第三課長)同
▲西村大佐(關東軍電信隊長)同
▲和泉少將(關東軍兵器部長)二十二日午前發ハルビンへ
▲和田大佐(ハイラル部隊長)同
▲中川義治氏(公主嶺署長)二十一日午後來京
▲山崎義政氏(東拓社員)二十一日午前來京ヤマトホテル投宿
▲田中嗣氏(大阪商人)二十一日午後來京ヤマトホテル投宿
▲土橋國利氏(東京會社員)同
▲渡邊理惠氏(ウラジオストツク總領事館員)同
▲上原德一氏(東京會社員)二十一日午後來京ヤマトホテル投宿二十二日正午發ハルビンへ
▲吉房仁之助氏(大阪會社員)同奉天へ
▲吉野淑計氏(吉林公署官吏)同
▲中谷常一氏(東京會社員)同
▲鯉沼地方係長(新京地方事務所)大連出張中のところ二十一日歸京
▲鴨打土木係長(新京地方事務所)同上
▲川名精一氏(東京醫師)二十一日來京國都ホテル投宿
▲飯田正藏氏(材木商)同
▲始關伊平氏(實業部事務官)同
▲井上重敬氏(名古屋會社員)同
▲朝谷堅志氏(哈市飛島組社員)同
▲高橋喜作氏(同)同
▲磯本良一氏(和歌山縣官吏)同
▲淸水登之氏(洋畫家)同
▲磯部檢三氏(醫師)同
▲野々宮精一氏(大阪稻畑染工取締役)國都ホテル投宿中の處二十一日出發
▲兒島卯吉氏(大連製氷會社員)同
▲靑柳貞三氏(王子製紙會社員)同

團体

▲大同學院觀察團百七名二十二日午後二時歸京
▲朝鮮龍山商業學生八十一名二十二日午後九時五十分來京旭ホテル投宿二十日午後四時發南行
▲日本綿織物工業組合鮮滿視察團第一班十二名二十三日午後三時歸京
▲同第二班十四名二十三日午前六時四十分來京國都ホテル投宿二十五日午前九時二十分發ハルビンへ

最後の切札八枚 (合作)

柳 咲子……峯 吟子
大林梅子……若水絹子
湯 蘭子……夏川靜江
木下双葉……飯田蝶子

若水絹子作

＝誤解された純情＝ 若水絹子作
5……從妹(六)

球惠はそれを、ぢつと辛抱してゐた。そして、早くタクシが、いつもの所へ着けばいゝと思つてゐた。

『永見さん』

瞳子は、三度目にかう永見を呼びかけた。

『何ですか』

『貴方。學校はどちらをお出になつたの……』

『早稲田です。早稲田の經理科ですよ』

『まあ、ステキ！、あたし、早稲田びいきなのよ。何か運動なさらなかつた？』

『何もやりません。僕、學校時代はあまり身體が丈夫でなかつたものですから』

『さう。銀座へはよく行らつしやるの』

『いゝえ、あまり……』

『さう、ぢや、今度御一緒に散歩しません？』

永見が、また返答に迷つて苦笑してゐると、

『ねえ、お姉さま！今度三人で銀ぶらしませうよ』

と、球惠の同意を求めるやうに云つた。

『……？』

球惠も、だまつてゐた。甚だしくなる心を、ぢつと押へてゐるやうだつた。

『永見さん、あたし一週に二度づゝ銀座へ行くことにきめてゐるのよ。だつて。銀ぶらに行くお約束をしたお友達が、五人もゐるんですもの……』

と、球惠の居ることを無視して、また話しかけて行つた。

『では、僕がお約束すると、六人になるわけですネ！』

永見が、笑ひながら、半ば冗談のやうにかう云ふと、

『さうなのよ。ホヽヽ』

と、瞳を背後の方へ打ちつけるやうにして笑つた。

球惠の心は、この瞳子の笑ひによつてかなり和らげられてゐた。それは、瞳子と云ふ女が、永見だけに散歩を約束するやうなものでないことを、彼女自らが告白してゐるからだつた。

この從妹には、野心も計畫もないのだ。たゞ、どんな男性にでも、小犬が飼主にとびつくやうに無邪氣に、ぢやれついて行つてゐるに過ぎない。たゞ、それだけの事である。自分と違つて、朗かな性質を持つてきてゐる彼女としては、それを當然のやうに心得てゐるに相違ない。してみれば、自分が瞳子に對して、あまり不愉快を感じ過ぎてゐたやうで、それが濟まなかつたやうな氣がした。

それから三十分ほどして、自動車が綏野川の區役所前に近づいた時。

『あの、止めて貰ひますわ』

と、球惠が聲をかけて、降りやうとするやうにした。

『あら、もう來ちやつたの？』

瞳子は、物足りなささうにかう云つて、腰をうかせながらあたりを一寸見廻してゐた。

『どうも有難うございました』

球惠が、永見に挨拶しながら其處へ降り立つと、

『ぢや、僕も降りませう』

と、永見も腰をうかさうとしたので、

『あら、貴方は、もつとお乘りになつたはうが、お近うございますわ、どうぞ……』

と、止めるやうにした。三人一緒にゐることに、球惠は、もう疲れてゐるのだつた。

自動車ギャング犯人の身許判明

一週間に亘る苦心酬ひられ　犯人を指名手配

十五日午後十一時三十分頃新京新發屯北安路白菊小學校下に於て富士屋タクシー運轉手榊原新氏を短刀で刺し所持金約十圓と印鑑一個、名刺若干を强奪「警察へ告げると承知しねえぞ」と捨台詞を殘して逃走した二人組ギャングにつき所轄新京署、領事館署では全署員を動員市内外に一大捜査網を張り犯人檢擧につとめたが更に手懸りなく危く迷宮に入らんかと思はれてゐたが事件發生後六日目の二十一日午前十時頃に至り新京署刑事の一隊が市内東二條五十八番地某旅館内にて有力なる證據物件たる榊原の印鑑を發見人相着衣其他調査の結果犯人の身許判明し新京署は直ちに指名犯人として全滿各署に手配すると共に今までの捜査範圍を極限して逮捕に全力を注いでゐるが犯人逮捕は最早や時間の問題とされてゐる

犯人が泊つた室から　奪つた印鑑出ず

二十一日午前十時頃新京署刑事の一隊が市内東二條通五十八番地某旅館内を臨檢したところ十五日午後十一時五十分頃二人連れ日本人男の客が泊つたといふ部屋の物影から

榊原の印鑑一個を

發見、二人が投宿した當時の狀況を調べて見ると十五日午後十一時五十分と思しき頃突然風のように飛込んで來た見知らぬ二人連れ日本人が投宿何だかそわ〳〵と落ちつかぬ態度であつたが旅館では宿泊名簿を出すと身体の大きな方は床の中に臥して居り小柄の方が二人の氏名（捜査上特に名を秘す）を書いて出したが見ると本籍住所を記入してゐないので宿屋ではそれを書くやう注意するとしばらくかゝつて本籍住所（捜査上特に秘す）を書いてすぐ寢につき翌十六日小柄の方は絶へず外出してゐたが午後四時過ぎ

「新聞を持つて來い」と女中に新聞を命じ本紙の夕刊を見ると急に態度が變り午後五時頃勘定をすましてあたふたと出て行つたこと

が判明した新京署では直ちに着衣人相を根據に調査の結果確たる犯人の身許（捜査上特に名を秘す）を摑み得直ちに全滿各署に指名犯人として手配をすると共に今までの捜査範圍を極限して全力を集注することゝなり迷宮に入るかと危ぶまれた自動車ギャング事件は新京署員一週間の不眠不休の努力漸く酬ひられ犯人逮捕は最早や時間の問題とされるに至つた

身許をつかみ得て　新京署大喜び

飛田司法主任苦心を語る

一週間に亘る不眠不休に幾分面やつれた飛田司法主任は犯人の身許判明し指名犯人とするまでに到つた喜びを面に浮べ

指命犯人とするまでに漕ぎつければ逮捕は時間の問題だ證據物件が手袋一つであり被害者の申立てる着衣人相が餘りに違つてゐたので一週間の苦心は一通りではなかつたがこゝまで分つたのは刑事諸君の熱心なる活動のお蔭である

驛待合専門の賊　新京署で逮捕

止宿先には贓品の山

二十一日午後九時頃市内吉野町大觀樓前支那人旅館に擧動不審の男が這入つて行くのを新京署井上刑事が發見、本署に連行嚴重取調べると本籍奉天省懷德縣范家屯生れ住所不定于寶和（二十七）過去三年に亘り新京驛待合室に於てトランク専門に窃盗を働いてゐたことを自白したが于の止宿してゐた旅館には金時計、金指輪、トランク等贓品が山程隱してあつた

奉納相撲

鳥居建設大祭　三十日神社で

新京神社では來る三十日鳥居建設奉納大祭が執行されるので、當日奉納相撲が同境内で催される、出場希望者は廿八日まで得丸常任幹事（電二〇四八番）又は社會係（電二〇九一番）まで申込まれたいと

スリの親分　捕はる

現行中を新京署員に

二十一日午後七時頃市内日本橋通り金泰洋行内で一滿人が日本人のオーヴァーのポケットから現金八圓餘を掏り取つたのを日本橋通派出所池下巡査が發見直ちに取り押へ本署に連行嚴重取調べて見ると安東縣生れ車潤久（三十四）で大連、安東、奉天各地にて掏り前科十一犯あり全滿掏りの親分として穫て指名犯人として捜査中のものであり新京のみでも其の被害數百件に上ること判明、尚餘罪嚴重取調べ中である

運動

十二對〇の大差で　電業軍快勝

對政府ラグビー戰

電業對政府のラグビー戰は廿一日午後二時から砂塵を巻きあぐ强風をついて花々しく肉彈戰が開始されたが政府振はず前後半ともに電業に壓倒され十二對零で電業快勝した

得點　電　政
前　三　〇
後　九　〇

强風の爲　紅白野球中止

日滿聯合紅白野球試合は二十一日午後三時から西公園球場で開始されたが强風のため砂塵を巻きあげ試合不能となり二回でやむやく中止した

第一回新種目競技大會　新記錄續出

【東京國通】關東陸上競技協會主催の第一回新種目競技大會は廿一日午後學習院競技場で擧行されたが、短距離の第一人者吉岡隆德選手は六十米競技に六秒七の屋外世界最高記錄を作つた、尚同日は三百米、十哩ロードレース、立高飛立幅飛、其他今までの競技會に見たことのない各新種目の競技が行はれ而も新記錄續出し好成績を收めた

体育ボール　廿四日幹事會

新京体育聯盟体育ボール部では二十四日午後一時から地方事務所會議室で試合日時決定のため幹事會を開催することになつた

滿鐵陸上競技リレー　派遣選手決定

第二十五回滿鐵運動會大連支部陸上競技大會の沿線各都市八百メートルリレーに新京支部の派遣選手の決定は二十二日正午から地方事務所會議室で陸上部幹事會の結果左の如く決定した新京軍は第二十三四兩回に優勝してゐるので本年は三度の優勝を確得すべく非常に意氣込み每日午後四時から兩公園トラックで猛練習を開始してゐる

派遣選手

▲岡健二、直井忠夫、末永繁正、光野弘、補欠渡邊亮

六大學リーグ　法政再勝　對帝大二回戰

法帝二回戰は帝大先攻で開始十九A對六で法政再勝

19A―6

										計
帝大	0	0	0	0	2	3	1	0	0	6
法政	2	3	0	2	4	1	3	4	A	19A

法政		帝大	
戸倉	8	井上	56
藤田	2	[illegible]藤	7
鶴岡	5	津田	8
原口	3	高橋	3
秋山	9	小野	65
館城	7	山科	4
中村	6	篠原	1
笹尾	4	濱野	2
田子	1	山脇	9

19A―6

學生野球派遣チームは半ばに決定

【東京國通】春のリーグ戰も愈々開幕して球界に漸く活況を示してゐる折柄東京大學野球聯盟では愈々來る六月廿四日米國コロムビア大學提唱の世界學生野球選手權大會に參加すべく諸準備を進める事となり、先づ岩本理事長は近日中に外務省を訪問して參加承諾を回答する事となつた、派遣チームは大体に於て單獨チームとし遲くもシーズン半ば迄に決定、今シーズンの試合終了後渡米せしめる豫定であるが國内の學生野球が漸く頂點に達し些か行詰つたかの感がある今日、斯うした試みのある事はアマチュア野球の進路に一大展開を與へるものと大いに期待される

本社提唱の時間嚴守　反響極めて良好

南嶺の植樹節は定刻

曩に本社が提唱、滿鐵地方事務所社會係と呼應してその勵行に當つた「時間嚴守」は新京人士に

多大の肝銘を與へ良好な反響の現れ

て來たのは愉快である、二十一日夜ヤマトホテルで開かれた前總領事吉澤淸二郎氏の在米大使館參事官に榮轉送別會の如き、午後六時半の定刻に遲るゝこと十五分で開宴したが、百八十余名からの集りに斯うした成績の良かつたのは稀有のことで、從來は、如何なる集りでもたいてい三四十分は遲れる、ひどいのになると一時間經つてもまだ全部顏が揃はぬなどといふことさへあつたものである、同日南嶺で行はれた、民政部、實業部市公署、軍政部主催の全國綠化運動第二回植樹節式典も、定刻午前十時に開始したのとこれ又稀有のことで、如何に日滿各部がこの時間嚴守に共鳴してゐるかゞ察知される、然し斯うしたことは最初は自他ともに迷惑の多いことだから勵行を見るが稍ともすれば

熱が冷め易いから、これを冷さぬやうに努めたいものである

吉澤參事官　送別宴は十五分遲延

白菊區長　神瀨氏榮轉

新京保線區長神瀨龍次郎氏は今度大連鐵道事務所に榮轉したが氏は滿洲事變直前新京に來任、白菊區が出來るや第一回の區長として一般公衆のため熱心に盡力するところ多かつた、二十四日午前十時發で赴任の豫定

風で京濱線　二時間遲る

二十一日午後七時二十五分着京濱線旅客列車は折からの强風のため約二時間遲れ同九時十分漸く到着

室町、西廣場校　旅大見學

室町小學生百二十四名二十二日午後四時發旅大へ二十六日午後二時歸校西廣場小學生百六十三名二十二日午後四時發旅大へ二十六日午後六時三十五分歸校豫定

昨夜烈風中に　鐵北に大火事

今曉は城内でも出火

二十一日午後七時半頃孟家橋衛馬車業張松林（五六）方から發火、折柄の烈風に火は見る〳〵燃へ擴がり滿洲國側及滿鐵消防隊出動し午後八時五十分頃漸く消し止めた燒失家屋全半燒二十餘戸損害其他調査中

×

二十二日午前四時十五分頃城内北市場阿片零賣所厚德福方から發火、消防隊出動同家屋根裏一坪を燒いて鎭火した損害約二十圓

敎導隊軍馬に　鼻疽病發生

【吉林支局發】當地第二敎導隊の軍馬中に數日前より局所に炎症を起すものや發熱するものがあり警戒中の處、非常な勢ひで他の軍馬にも傳染する傾向が見えるので、急遽獸醫を招いて診斷せしめしに恐るべき鼻疽病と判明し、十八日病軍馬合計五十一頭を撲殺埋沒して他への蔓延を防いだ

丸崎伍長の　慰靈祭

【吉林支局發】本年一月四日特殊任務を帶び哈爾濱新市街憲兵分隊に派遣中去る十三日午前四時頃〇〇に於て多數の匪賊と激戰し左前胸部貫通銃創其他身に數彈を受け壯烈な戰死を遂げた吉林憲兵分隊伍長丸崎俊夫氏（二七）の英靈に對する慰靈祭は二十一日午後一時より安藤分隊長が委員長となり同隊前廣場に於て多數官民參列の下におごそかに盛大且嚴肅に執行された

第二回新京野球大會

日時　四月廿四日から開始

場所　西公園球場

主催　新京日日新聞社

小町糸子、マーガレットユキ　長春座出演

過般帝都キネマ開館杮落興行に出演好評を博した松竹歌劇小町糸子及ベビーダンサーマーガレットユキの兩名は其後ハルビンに赴き出演中であつたが當地長春座よりの招聘により廿二日午後三時着列車で新京着直に長春座のステージに出演二十二日より晝夜三日間の豫定とあり兩孃のデビューは映畫の添物として喜ばれてゐる

甲齋虎丸　廿二日夜から公會堂で開催

浪花節ファン待望の　甲齋虎丸師が一門の俊秀を引具して今二十二日夜から三日間公會堂で公演する、聲、節、調に完璧し、人物描寫と表情に一新機軸を出し、前人未踏の境地を拓くと豪語し勵精克苦、遂に自他共に許す浪界の巨匠虎丸、題材に豐富なことは斯界隨一と云はれてゐるから、開演三日間、浪曲ファンを滿足させることであらう、金襖物、三尺物、力士物、政談物、新派物每夜長講二席を受持つさうである

藤波會と勢好會の春の溫習會が來る二十六、七の兩夜公會堂で催される、藤波會は藤間勘多郎門下の舞踊、勢好會は杵屋勢七郎門下の長唄、出演者は新京花街のきれいなところ……など說明は要るまい、▲出演者名の肩書が料亭の家號でなくそこの主人公の姓になつてゐるので同藝名異人が多い現在ではちよつと見當がつけにくいだらう、▲だが吉本內ゝ子なんてのは子飼の舞妓上りだからはゝあ南海のだなとわかる人にはわかる初日も二日目も立方をつとめる▲二日目淺妻船江頭柳蔭に船を泛べ烏帽子水干を着けた遊君に扮しそりやいはいでもすまうぞへ、すまぬ口說のいひがゝり背中あはせの床の山こちら向かせて引寄せてつねつてみても……なんておだやかならぬ歌詞の舞踊、▲あだし仇浪寄せてはかへる浪淺妻船のあさましき琵琶湖東岸、いにしへの……あゝ面倒だやめやう、ゝ子負けぬ氣の妓だつたからうまく演ることでせう（寫眞ゝ子）

けふの銀相場

國幣對金票　一〇四圓〇〇錢
鈔票對金票　一三五圓四〇錢
國幣對鈔票　八三圓〇〇錢
現大洋對鈔票　一二九圓五〇錢

天氣と氣溫

明日の天氣　西の風晴
日の出　午前四時四十四分
日の入　午後六時三十一分
月の出　午後十一時廿九分
月の入　午前七時　四分
けふの氣溫　最高　十二度七　最低　三度五

新撰爆笑隊

（上映禁上演）

辰野九紫作　永田八浦關英太朗畫

現代篇 六五

い、空氣!?」（六）

「あら、聞こえてよ、小父さんと分れ——浦和よ」

「はゝん、皿沼か——道理で」

「よくしつてんのね、感心!」

「さあ、もつと溫和しくして下さい。子供みたいにきよろ〳〵足を動かしちや醉ひませんよ」

「あら、ご免遊ばせ、——私、嬉しくなつちやつたのよ」

「これから〇〇見物ですか」

「見物にしないわねえ。——あんな田舍者のゆく店、御免だしちやうわ」

彼女の眼は見違へる程光澤がでて、これから市內電車なんかのるのは勿體ないくらゐなので、いつそ人力車か自動車でも奮發させたい氣も起つ……

百合さんはそれに何等の說明も加へず、腕時計を氣にし初めた。

「私、この汽車でゆく所あるのよ」

「お獨人?」

「えゝ、まあ……」

「うまくやつてんのね」

「そんなんぢやないの……後でゆつくりお話しするわ。あんた何處?」

「あ、さう〳〵すつかり忘れてた……私、現在別莊にゐるのよ」

「別莊? 素敵ねえ……」

「さうでもないわ」

「その御別莊、何處? 鎌倉?」

「いゝえ、あのす……浦和」

「浦和ッて埼玉でせう」

「さう、浦和のね、皿沼つてのよ」

「ふうん……」

つたのか、ぶら〳〵と汽車の改札口の方へ歩いてゆくと、折しも背廣方面への電車前にて、艶麗とりどりの婦人に身を固めた乘客がごつた返してゐる。

一見嫌な彼女かと思はれるけばけばしい洋裝が自動車から身を躍らした瞬間、彼女と彼女はばつたり顏を合はせた。

「あら、綾ちやんぢやなくつて」

「まあ……百合さん!」

「お懷しいわね……」

「どうして、あれから?」

「私、トテモ涙がでちやうわ」

「あんた知らなかつたかしら……素晴しい結婚したのよ」

「お目出度う——しらなかつたわ。私謝つて頂戴」

「嬉しいのね、——百合さんとよ」

「御免なさい、私、忘れちやつたのよ」

「どうせ私なんかのことですものね——あんた、どう?」

「相變らずよ、仕方がないわ」

「でも、素的ぢやないの」

綾子の……

「有難よ」

「私、しらないわ。ご免……ないでせう」

「でも、計畫の靴磨きの小父さんもしつてるわ」

「そんなにいゝ土地?」

「そりやもう、閑靜でトテモ空氣がいゝわ、何處へゆくんだかしんないけど、寄りによらない?」

「え、ありがと。浦和市皿沼——何番地?」

「えゝと、……綾さんの御番地忘れちやつた。御免なさい」

「薄情ね、ほほほ……臆病よ」

「あゝさう〳〵……あの時分、臆病さんの綾さん、大變だつたわねえ。」

「お邪魔さん——乘遲れるわよ」

「大丈夫、まだ五分ある。宜しくね」

「え、ありがと——いつてらつしやい」

「あんたはどこゆくの?」

「家政婦——三越——寶生堂……」

「うまくやつてんのね」

「そんなんぢやないの……後でゆつくりお話しするわ」

SEK

ラヂオ

二十三日（火曜）新京

六、〇〇 ラヂオ體操（滿語）
六、一五 ラヂオ體操（大連）
引續き 入港船の御知らせ（大連）
六、三〇 中等滿語講座（大連）講師 秩父固太郎
七、〇〇 中等日語講座（奉天）講師 近藤喜助
七、二〇 朝の音樂（大連）
八、一五 滿洲國皇帝陛下神戶港御出航御模樣
—神戶港第四突堤より中繼—
八、三〇 經濟市況（東京）
八、五〇 滿洲國皇帝陛下神戶港御出航御模樣
—神戶港第四突堤より中繼—
九、四〇 經濟市況（大連）
一〇、〇〇 料理獻立（奉天）
一〇、二〇 經濟市況（大連）
一〇、四〇 經濟市況（東京）
一〇、五九 時報（東京）
一一、〇一 經濟市況（東京大連）
一一、四〇 ニュース（東京）
（午後之部）
〇、〇一 經濟市況（大連、引續新京）
〇、三〇 ニュース（滿語）
〇、四〇 ニュース（滿語）
〇、五〇 演藝（レコード）
二、〇〇 經濟市況（大連）
二、〇〇 成人講座（滿語）
滿洲國皇帝陛下訪日與日本（二）滿洲文化普及會 黎振聲（奉天）
二、四〇 日用品値段（滿語）
二、五〇 經濟市況（東京）
三、〇〇 ニュース（東京）
三、三〇 經濟市況（大連、引續新京）
三、五〇 ニュース（鮮語）
四、三〇 ニュース（鮮語）
四、四〇 演藝（鮮語）
四、五〇 ニュース（英語）
五、〇〇 子供の時間（奉天）
一、お話 笛を吹く女神の影像 奉天加茂小學校四年生
二、齊唱（木）奉天加茂小學校四年男子 佐藤經郎
五、二五 氣象通報、番組豫告
六、〇〇 ニュース（東京）
六、二〇 政府公報（滿語）
六、三〇 國民の時間（哈爾濱）王道政治下之產業及交通 外交部特派員 施履本
七、〇〇 茨城縣の夕

‖水戶市茨城會館より中繼‖

一、土浦囃篁踊 サガミツル作詞 佐賀進作曲
‖土浦町‖
唄 宇太古
同 春吉
同 美津代
三味線 桃太
三味線 小三太
三味線 小ふじ
二、炭鑛節 ‖松原町高萩‖
唄 あぐり
同 時榮
三味線 松榮
三味線 長吉
囃子 メ子
囃子 豆千代
三、小念佛踊……放送者未定
四、磯節 大洗甚句 ‖磯濱町‖
唄 秀子
同 駒助
同 照奴
三味線 金太
三味線 龜壽
三味線 勝千代
三味線 三ツ龍
太鼓 一丸
五、大漁節 ‖湊町‖
唄 春香
同 駒勇
同 ぽたん
同 小勇
大太鼓 小喜久
小太鼓 小太郎
笛 とみ子
谷井角右衛門
六、酒造唄
（イ）摺唄
（ロ）搗突唄
‖石岡町‖
桑原熊太郎
植木榮藏
小笠原由藏
大島久廣
田村爲造
伊東行英
淺賀象吉
伊藤兩造
金井富太郎
淺賀謙一
七、潮來あやめ踊 あんば踊 ‖潮來町‖
唄 榮子
同 若丸
同 鈴子
三味線 小太郎
三味線 たより
太鼓 飯笹新太郎
八、太田小唄 川崎春二作詞 長妻完至作曲
‖太田町‖
唄 小勝
同 友代
同 靜子
同 福太郎
三味線 梅香
三味線 のんき
小太鼓 松太郎
小鼓 茶目
九、太神樂 ‖水戶市‖
海老三 春之助
海老三 幸太郎
海老三 銀次郎
海老三 竹次郎
海老三 竹三郎
海老三 雛之助
海老三 小政
一〇、大工町小唄 中內蝶二作詞 杵屋勝助作曲
‖水戶市‖
唄 金太
同 美壽
同 加津江
三味線 代
三味線 おもちや
三味線 秀勇
一一、二上り新內 ‖水戶市‖
唄 金太
三味線 おもちや
一二、磯節 ‖水戶市‖
唄 金太
同 美代
同 加津江
三味線 おもちや
三味線 秀勇
囃子 つぼみ
囃子 メ子
八、三〇 時報、ニュース（東京）
引續き ニュース
八、四五 ニュース經濟市況 氣象通報番組豫告（滿語）
九、〇〇 舊劇（奉天）捉放曹
一〇、〇〇 北滿の時間（哈爾濱）小友俱樂部員（露語）
一、講演 土地の權力 キバルヂン
二、レコード
三、ニュース

ラヂオの御用は 東京無線 電四九二〇番

新進青年手合（其十七）

先番 高川格（二段）
瀨川良雄（二段）

いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつ

一二三四五六七八九十十一十二十三十四十五十六十七十八十九

（三）粘ぐ

○□八四 わノ十
●□八五 わノ十一
○□八六 りノ十九
●□八七 るノ十九
○□八八 るノ十三
●□八九 るノ十四
○□九〇 はノ五
●□九一 ろノ五
○□九二 りノ十六
●□九三 ぬノ十六
○□九四 ちノ十六
●□九五 をノ八
○□九六 るノ八
●□九七 つノ十一
○□九八 つノ九

六段 久保松勝喜代講評

扨て本譜は非常に細碁である故に、今だ何れが勝局するか判然し難いが、黒が先手で終分て行けば二、三目の勝になるであらうが、百八一の手で後手に廻つたから、現在のところでは、全く不明の狀勢にある。

白百八四は先手一目の得。黒百八五の動へは止むを得ぬ。白又先手で百八六と一目の得をした。

白百八八も先手一目。續いて白百九十も同樣。白百九二、百九四は後手二目。新細なつて今度は黑が先手であるが、最早全局を見るに大した損もない。

黑百九五も先手一目。黑百九七は打たなくても良いが（い）に打つてあるのは、白二勁の損である。斯くなつた場合に、白の百六六した。

四月二十三日 火曜 己巳 大安 除 觜宿
四月二十三日 三十一日

●一白の人 少しづゝは善き方に向へども無理は通り難し乙と丁と丑が吉
●二黑の人 幸福に滿ちたる日にて內外共に吉なるべし巽と幸と士が吉
●三碧の人 目上の引立に逢ふ日我意に募れば凶となる丙と丁と丑が吉
●四綠の人 人の力を借らず熱心に己が分限を以て進め丙と乾と丑が吉
●五黃の人 自然の幸福の增進し來る日始業者請旅行吉庚と辛と壬が吉
●六白の人 一喜一憂出入も赤常ならざる日萬事に注意巽と壬と癸が吉
●七赤の人 辛抱足らざる時は積日の効を捨つるに至る甲と乙と巽が吉
●八白の人 運氣强く是までの難事も一掃せらるゝ吉日卯と辛と壬が吉
●九紫の人 遲々たる運氣も募らざれば夕までには伸る丙と庚と亚が吉

通商審議會を開催
統制貿易確立へ
廣田外相の海外貿易成長案

【東京國通】廣田外相は我國海外通商貿易成長の根本政策確立の爲大藏、商工、拓務其他關係官を招き來る廿六日午後三時より外相官邸に通商審議會を開催することに決し、廣田外相の諮問案とし提出されるものは

一、我國が入超を續ける諸國に對して執るべき輸出入調整案

二、我國の輸出超過國に對する措置案

三、外務省通商局を中心に強化擴張せらるべき通商統制機關具體案

等に就き各委員の率直なる意見を徵する事となつてゐるが所謂外務省通商局原案として確立された右に對する諸對策は

一、輸入超過國に對しては關税引上、買付増加各貿易調整等の要求等を行ふべく

二、出超國に對しては輸出統制並に輸入統制の連絡強化により全體としての輸出入を調整し

三、通商擁護法を發動せしむる事の一方輸出を考慮してその輸入統制を強化せしめる等々の如きものである、右の如く各國の統制國家經濟に對應して我國が從來傳統的に保ち來れる自由主義通商對策を變更して統制的色彩を織交ぜ來つたことは最も注目すべきところである

三月末現在
新京組合銀行業態

三月末現在における新京組合銀行の預金は金票に換算して合計六千六百九十五萬八千餘圓で前月に比し三百萬圓餘の減、貸出は四千二百二十萬四千餘圓で二百二十余萬圓の増加を示してゐる、預金、貸出を各種別に示せば次の通り（以下全部金票換算、單位千圓）

		前月比（△印減）
△預金		
定期預金	三四、九七二	△三六八
當座預金	一〇、一〇五	△一、三三三
特別當座	七、六一八	△一、三〇一
通知預金	一〇、九五六	△一、四八五
公金預金	一七	一
その他	三、二四八	二一〇
計	六六、九五八	△三、〇〇三
△貸出		
證書貸	三、三七九	△三三三
手形貸	一六、一七五	△二、七四六
當座貸越	一八、六九六	△五六二
割引手形	二、六六八	七一六
荷爲替	一、一四四	△三四〇
その他	一四九	二九
計	四三、二〇四	一、五九八

これを各銀行別にみれば

	預金	貸出
鮮銀	三九、〇八二	△五、八九三
正金	五、六四三	一、五九七
中銀	二、九〇〇	△一、三三〇
支行	二、二六九	△二、四七六
滿銀	五、三三四	△四、一六一
正隆	一、〇〇四	△一、〇二九
新京	一、六六一	△二、二二三
東拓	九、一四二	△一三、七〇八
中銀		

計	六六、九五八	△四三、二〇四
前月計	六九、九六一	四一、〇一六

比島でも
防遏策考究

【東京國通】日本綿布の海外市場に於ける輸入防遏對策は先づ英國が英領印度で實施し次いでオランダ政府が蘭領印度で輸入割當を行つたが最近に於ては米國でも又日本綿布が問題となり米國大統領は遂に綿業調査委員會に對して外國輸入綿布の米國綿業に及ぼす影響如何を調査せしめることゝなつたと報ぜられてゐるかくて日本綿布海外進出防遏對策は漸次擴大しつゝあるが廿日某所着電によれば、ヒリッピン政府に於ても目下日本綿布進出の防遏策を考究中であると、即ちヒリッピン市場への輸入綿布は從來輸入總額の九十三パーセント四は日米兩國品で占めてゐる 此の兩者の輸入狀態は米國品が當に多量であつたが一九三四年度に於ては日本綿布進出顯著の爲め輸入總量の五十二パーセントは日本品、四十パーセントが米國品と遂に米國綿布の輸入量を凌駕した、斯の如き事情にあるので目下ヒリッピン政府は日本綿布輸入防遏策を種々研究中で來る七月開會のヒリッピン議會に於ては何等かの對策が講ぜられるものと見られてゐるが、ヒリッピン政府は曩に米國以外からの輸入商品に對し關税引上げを企圖したことがあり、日本政府からの抗議により關税引上げを中止した事實があるのでヒリッピン政府の日本綿布の進出防止策に關しては注目すべきである

木材商の美擧
再度の救濟金募集

【吉林支局發】昨年度凶作の爲め吉林附近各縣の農村が極度に疲弊してゐることは屢報の通りで、永吉縣一帶の窮民救濟の爲め邦人木材商有志が醵金して包米百四十石を贈つたことは日滿人間の美談として曩に報道した所であつたが木材興業の岩間啓次郎氏を首唱とする邦人木材業者は更に義金を集めて額穆縣下の官民にも此惠みを頒たんことを企て義金の總額が二千百七十圓に達したので、實業廳花田科長の盡力にて右の金を以て包米を購入し近く現地に急送して救濟の一端に充てることゝなつたが、早くも此事を傳へ聞ゐた地方の農民達は邦人木材商の溫情に極度の感謝を拂つてゐる

近く綿製品の
制限令實施

【神戸國通】廿日在蘭印日本人商業協會聯合會より日本蘭印貿易協會へ左の入電があつた

蘭印政府は綿製品十六種の制限令を發表し廿一日より實施することゝなれり、在蘭印邦人商人の商權擁護の爲め當局並に各方面の盡力を乞ふ

右目的達成の爲め強力なる統制力を持てる對蘭印雜貨輸出組合を緊急確立されたし

右は內地業者の要望と一致するもので蘭印對策上刺戟するところ尠からざるものと見られてゐる

交銀株主總會
政府持株增加追認案等可決

【上海廿一日發國通】交通銀行は二十日午後二時から銀行公會に於て株主總會を開催

一、政府株一千萬圓增加の追認案

一、財政部附の同行組織條件修正案

一、同行修改案

一、民間株主監察人改正案

を可決した、その結果同行資本二千萬元中一千二百萬元が政府持株、民間持株僅かに八百萬元に止まる事になり、又役員に於ては董事廿一名中政府側九名、民間側十二名、監察人七名中政府側三名、民間側四名となつた

右政府持株增加に依る同行の增資は財政部が政府の絕對權を同行の金融勢力に延ばさんが爲に過般發行せる一億元金融公債の中より强制的に一千萬元だけ同行に貸付けたものである

敦化電業公司
新機を購入

【敦化支局發】昨年末發電機關の故障によつて大損害をかふむつた敦化電業公司では現在の二百二十五キロ發電機に更に二百キロの新機を購入神戸に注文を終つたが更に目下市內配線工事中である晝間送電も來る十月頃までには完成實現する模樣である

奧地向商品の
圖們通過豫想額

【間島支局發】圖寧線は愈々六月より本營業を開始されるが北鐵と聯絡して北鐵の奧地へ搬入される內地商品も相當高に上るものと見られ又北鮮諸港へ搬出の主要特產物即ち大豆、豆粕、木材等物資の中繼要路たる圖們を通過する量の豫想を聞くに、圖寧線を經由するもの一日約三千噸京圖拉濱線經由のもの約二千七百噸合計五千七百噸內一千噸は圖們に荷卸され羅津雄基方面仕向け約三千噸、淸津仕向け約一千五百噸と見ても差支へないと各係關機關首腦部の豫想である

京大線及關係地方
經濟事情（三）
新京商工會議所書記　岩淵滿雄

第二節　農安縣城

一、縣の東南隅伊通河北岸の丘陵上に位し高廿丈餘周圍約七里の土壁を繞らし街衢は井字形に交叉し東、西、南、北の大街を中心に大小の商舖櫛比して居る

二、人口二萬五千（本年一月末日領事調査）で邦人は料理店飲食店及旅館關係者の三六名を筆頭に一二五名が居留してゐる

三、官公衙其の他の主要機關としては縣公署、日本領事館農安分館、電報、電話、郵政各局、中央銀行支行、電燈廠、農務會、商務會等がある

四、商家二百餘戶中有力なるは糧棧（萬增福、永盛棧）雜貨舖（玉發合、公源泰）魚菜食料雜貨商（德增東、玉茗順）藥店（同升恒、德泰增）等があり

邦商としては福來洋行食料雜貨）國際運輸等がある

五、工業は燒鍋（鴻盛源、福順合）油坊（東興合、聚順源）を主とし此の他家內工業式の織布、染布、製鐵、鐵工等の工場六〇餘がある

六、當地よりの主要移出品は大豆其他の特產約五〇五石であり砂糖、綿糸布、麥粉石油、燐寸、煙草等約二百萬圓の年額移入品が主に新京から入市され最近は石炭及密柑の入荷が目立つて多く前者は六千噸後者は少くとも一五箱に上るものと見られて居る

七、金融機關としては中銀支行、當舖（質屋）があり糧棧亦青田買買の形式で融資して居る

イ、中央銀行農安支行（康德元年十二月末本行調査）

預金　五四、〇〇〇圓

貸金　四九二、〇〇〇圓

（國幣）

ロ、當舖は合計九軒貸出高合計一〇二、七〇〇圓、（國幣）である

第三章　扶餘縣
第一節扶餘縣勢一般

一、古くは當縣一帶亦高句麗に屬し遼から明の時代には蒙古族が侵略し其後幾多の變遷を經て淸の光緒三十二年に新城府が置かれ民國二年新城縣に改まり同三年扶餘縣と改稱され現在は吉林省の管轄下に在る

二、吉林省西北隅に位し東北の双城縣及東部の榆樹縣とは拉林河及其の支流の灰塘溝を以て相對し第二松花江の綫流に依つて南及東南は農安、德惠の兩縣に、北及北西は郭爾羅斯後旗及肇州大賚の兩縣に又西及西南は郭爾羅斯前旗に分界し縣內一帶に山岳と稱すべきもの無く河江の水運拓け縣の東及東北部一帶は就中肯毀の沃野に惠まして居る

面　積　[illegible]

既耕地　[illegible]

（大同二年度實業部調査）

人　口　[illegible]（康德二年一月末縣公署調査）

三、農、牧、漁業が縣下の主產業で縣公署の調査になる農產物の康德元年度收穫高は高粱三四萬石、大豆二五萬石、小麥一五萬石、粟一七萬石、この中例年三四〇萬石を主として合計約一〇萬石內外を縣外に移出する家畜は馬豚牛羊等混計約一七萬餘を數へる、又漁業盛に行はれ第二松花江及嫩江の合流點三岔河附近が漁場として最も優れ鮒、鯉等の種類を主として年額約一〇〇萬斤、この高約一五〇萬斤を新京、吉林、奉天に移出する

四、北鐵南部線は縣の西を南北に從貫し縣內の沿線の主要都市は陶賴昭、石頭城子等で道路は縣城を中心で左の各地に通ずる

自縣城至新京　[illegible]

〃　大賚　[illegible]

〃　陶賴昭　[illegible]

〃　哈爾濱　[illegible]

〃　石頭城子　[illegible]

〃　長春嶺　[illegible]

縣の三境を繞流する第二松花江の水運は嫩江合流點から上流は汽船の上下航可能であり、それより上流は帆船が通る程度で而も諸所に[illegible]

商況欄
（四月二十二日前場）

取消
廿日附本紙夕刊第四面『閻紙幣回收良好—淸水文書課長談』と題する記事は一部事實相違せる點あり、淸水氏の申出により右記事を取消す

海外經濟電報
（四月二十二日）

倫敦銀塊、同遠限、紐育銀塊、孟買銀塊、スチール株、アナコンダ、米英爲替、米日爲替、米支爲替、英日爲替、英支爲替、英米爲替、印日爲替　[illegible]

▲米棉　現物、五月限、七月限、十月限、十二月限、一月限、三月限　[illegible]

▲印棉　ブローチ、オームラ、ベンゴール　[illegible]

▲市俄古小麥　五月限、七月限、九月限　[illegible]

▲カルカッタ麻袋　青筋、鐵筋　[illegible]

金銀市況
●上海イースター・ホリデー休會

●大連金鈔票　現物、寄、引、出來高、四月廿八日限、寄、步、五月十三日限　[illegible]

●大連鈔票銀大洋　現物、出來高　[illegible]

●奉天國幣金票　現物、▲四月廿八日限、寄、引、出來高　[illegible]

●奉天國幣鈔票　現物、▲四月廿八日限、寄　[illegible]

爲替相場
●哈爾濱國幣金票　現物、▲四月二十七日限、五月十三日限、寄、引、出來高　[illegible]

●安東國幣金票　現物、▲四月廿八日限、五月十三日限、寄付、出來高、本寄　[illegible]

▲上海爲替　▲日本向　第一回賣買、第二回賣買、第三回賣買、第四回賣買、▲倫敦向　第一回賣買、第二回賣買、第三回賣買、▲紐育向　第一回賣買、第二回賣買、第三回賣買　[illegible]

▲大連爲替　▲上海向　[illegible]

株式相場
▲大阪株式（短期）　▲大連株式（短期）　▲奉天株式（短期）　▲阪神日米替爲　[illegible]

商品市況
日產、大新、五品、豆新、滿鐵、二新、電甲、同乙、東拓、東亞、日魯、滿興、滿毛、優先　[illegible]

▲大阪綿糸　四月限、五月限、六月限、七月限、八月限、九月限、十月限　[illegible]

▲大阪棉花　當限、先限　[illegible]

▲大阪人絹　當限、先限　[illegible]

▲神戸豆粕　四月限、五月限、六月限、七月限、八月限　[illegible]

特產市況
●大連大豆、豆粕、豆油、高粱　[illegible]

新京取引所況　[illegible]

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊　夕朝刊共十二頁

發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 永越內之介

臺灣大震災第二報

兒玉拓相の參內 災害狀況を奏上

首相と救援方法協議

全國へ義捐金募集方通達

【東京國通】兒玉拓相は廿二日午後一時首相官邸に岡田首相を訪問、臺灣震災に付き詳細報告救援方法に付き協議を遂げた上午後一時四十分宮中に參內、臺灣震災に付き委曲上奏した、尙拓務省では早くも全省員俸給の百分の一を醵出し現地に急送するに決したが、內務省では全國地方官に對し官民一致義捐金募集に當るやう通達した

酸鼻極まる生地獄

軍警の手で秩序維持

【臺中國通】罹災者の群はローソクやランプの光を賴りに路傍や廣場に三々五々屯ろして恐怖におのゝく一夜の明けるのを待つたが、此間餘震は罹災者の心を脅き突如廿二日午前三時又もや可成りの激震起り罹災者は一齊にざわめき立ち慟哭の聲熄まず、鬼氣愈々迫つたが不安の夜も漸く明けた、此頃記者は竹南で列車を乘り捨て被害調査に進む、震源地々方に至る道路は龜裂の連續で甚しいのは六尺餘りも喰ひ違つたところや三、四尺の大龜裂も見受けられる危險の爲新らしい本廳に通行止の制札が出てゐるのに今更その慘狀がしのばれる沿道部落は殆んど全滅と言つてよい震源地大安溪に近づくに從つて慘狀愈々度を增し、東勢郡の如きは戰場の跡の如く一望倒壞家室に覆はれ餘りの慘狀に記者自身さへ啞然たる有樣だ、一方豐原郡、大甲郡では流言ひ語橫行し檢束者さへ出したと言はれるが、この中にも軍隊、警察官、青年團等の涙ぐましい活動が續けられ食料、衞生材料の配給、死體の取かた付け等に殆んど一睡もせず目を赤く腫らし乍ら救護に當つてゐる樣は涙なくては見られない、女子供達が配給された握り飯、堅パン等に雀躍して空腹を滿たすのも涙なくは見られぬ態だ、斯くて恐怖にかられて一夜を明かした罹災民は軍隊警官等の必死の救護により漸く人心安堵早くも急造バラツクを建て始めてゐる等復興作業に着手してゐるのが見受けられる

社會局て 義捐金募集

【東京國通】內務省社會局は臺灣の大震災救援に就き二十二日早朝より拓務省と打合せを遂げ醫療器具建築材罹災民救護にする物質の供給法に就き萬般の準備を進めると共に取敢へず社會局を中心に全國地方廳と協力の上全國的に義捐金募集に着手することになり赤木社會局長官の名を以て右通牒を發した

救護班の活動進捗 人心漸く安定

＝蕃地方面には被害なし＝

【東京國通】臺灣總督府より拓務省着報告に依れば廿二日震災地は天候良好にして各救護班の救護事務は滯りなく運びつつあり人心は平靜に歸し尙更に今回の震災により蕃地方面は殆んど被害が無かつた

馬公要港部隊 被害地へ 救護隊と電話隊派遣

【東京國通】廿二日馬公要港部より海軍省着電によれば、馬公要港部は救援隊を編成、驅逐艦島風を被害地に急行せしめ、且海軍無線電信所より電信隊を臺中方面に派遣通信連絡に當らしめた

英國東洋艦隊 函館より歸る

【横濱國通】英國大使クライブ氏夫妻を始め大使館員等を乘せて函館方面に赴いて居た英國東洋艦隊旗艦ケント號及び砲艦ハルマンス號は廿二日午前六時橫濱へ入港した

谷參事官 歸任の途に就く

【東京國通】滿洲國皇帝陛下御出迎のため歸朝した駐滿大使館參事官谷正之氏は今後の我が對滿政策の根本方針に關する外務、陸軍、大藏各關係當局との重要打合せを完了したので廿二日午前九時特急「つばめ」號にて西下、歸任の途に就いたが、廿五日新京着の上南駐滿大使に對し日滿經濟委員會新設に伴ふ我が政府案を提出し日滿經濟委員會條約締結に關する交涉を正式に滿洲國外交部と開始する筈である

有吉公使神戶着

【神戶國通】有吉公使は廿二日午前九時神戶入港の龍田丸で歸朝、九時四十五分三ノ宮驛發列車で京都に向つたが、東京着は廿三日午前八時の豫定である、有吉公使は辭任問題に關し

一介の外交官が進退問題を左右出來るか、私は之に關して一語も漏らして居ない

と述べた

伍堂製鋼社長 赴日の途に

【大連國通】昭和製鋼所社長伍堂氏は八幡製鐵所への挨拶を兼ね阪神、東京方面の販路擴張の爲二十二日午前十時出帆のうすりい丸で赴日の途に就いたが、船中語る

出鋼式も無事終了しこゝに滕龍會社の別名を改稱してホツとした、本回の赴日は八幡製鐵所から職工四十名を貰つてゐるので謝禮の意味で挨拶に出向く爲である同時に阪神方面の取引先も訪ねて來たいと思つてゐる

滿人推事檢察官 日本司法機關視察

滿洲國司法部法學校では第二部滿人學員（現職推事檢察官）廿名を日本視察に赴かしめ東京の司法各機關を視察して滿洲國法權確立の中堅人物たる推事、檢察官の素質向上を圖る事となつたが一行は同校助教授林喜泰、教務主任丸山常吉兩氏引率の下に五月二日新京發朝鮮經由渡日、五月廿一日歸京の豫定である、一行名左の如し

濬陽地方法院 推事 蔣向民
同 同 劉材
同 錦縣地方法院 陳德粹
同 同 韓景春
同 鐵嶺地方法院 田玉明
同 海龍地方法院 關本全
同 遼陽地方法院 王銘勛
同 吉林高等法院 推事 王承楓
同 同 國鴻文
同 北滿特別區高等法院 曲致中
同 北滿特別區地方法院 趙德宣
同 龍江地方法院 廖鼎
遼源地方檢察廳 檢察官 王書麟
同 海龍地方檢察廳 孫金堂
同 遼陽地方檢察廳 張泊
同 吉林高等檢察廳 揚丕煥
同 永吉地方檢察廳 胡江濤
同 濱江地方檢察廳 馬駿鵬
同 特區地方檢察廳 衛成志
同 海倫地方檢察廳 孫樹聲

八田副總裁 北滿視察から歸來

北滿方面視察中だつた八田滿鐵副總裁、伊澤鐵路總局次長一行は二十二日午後七時二十五分新京着滿鐵理事公館に投宿した

臺灣の震禍に 滿洲側見舞電

鄭總理、遠藤廳長より

臺灣新竹地方の激震に對し滿洲國鄭國務總理大臣は昨二十二日岡田內閣總理大臣宛左の見舞電を發した

貴國臺灣臺中、新竹地方激震の爲め其災禍甚大なる趣洵に痛心の至りに堪えず玆に不取敢政府を代表し深厚なる御見舞の意を表す

同日總務廳長遠藤柳作氏より中川台灣總督宛左の見舞電を發した

貴島臺中、新竹州地方激震の爲其被害甚大なる趣洵に憂慮に堪へず不取敢深厚なる御見舞の意を表す

同じく遠藤氏は目下臺中、內海新竹州知事宛左の見舞電を發した

貴州管下激震の爲其被害甚大なる趣洵に痛心の至りに堪へず不取敢御見舞申上ぐ

吉田軍務局長 一行來京

窪井參與官、海軍省軍務局長吉田中將一行は二十二日午後五時三十分來京、大和ホテルに入つたが廿三日飛行機でハルビンに出發、二十五日再び新京に引返し二十六日發吉林を經て歸路につく筈

賀屋主計局長 視察に來京

賀屋大藏省主計局長一行は北滿視察を終へ廿二日午後二時二十分飛行機でハルビンから着京、一旦ヤマトホテルに入り大使館、關東局財政部、滿鐵各機關などを歷訪、二十三日夜八時新京發一路大連に向ふ豫定、なほ一行案內役として粟屋滿鐵審查役、小宮關東局經理課長ら同行である

靖安軍本部 廿四日新京着

昨年十一月より東部國境方面の掃匪工作に出動し嚴多幾多の辛苦に寧日なく治安肅淸に赫々たる武勳を樹てた靖安軍本部隊藤井司令官以下將兵約三百余名は二十四日午前十一時新京着晴れの凱旋をする事となつた、當日は驛頭張軍政部大臣以下各將星並に在京各民衆團体官衙、各機關代表各小中學校生徒の盛大な歡迎が行はれる、尙今回の凱旋は第二國及び騎兵部隊の一部で靖安軍凱旋の殿りを承はるものである

實業部で 農業水利取締

近時灌漑排水等の農業水利事業が各處で企圖せられてゐるが之等の施設は從來往々地方農民紛爭の原因となり其設計が確實なる技術的根據に基くものでなければ灌漑排水區域に於ける多數民衆の利害に重大なる影響を及ぼすことが多く企業者も亦所期の目的を達成することを得ないことが多い從つて之等の事業は到底之を企業者のみの計畫に委せることを得ず其の指導取締は之を一日も忽せにすることが出來ない實狀にある、依て爾今此の種の事業を爲し又は既存施設の變更をなさんとするものがあれば事業受益地面積五〇天地（晌）未滿のものを除き總て實業部大臣の許可を受けしめて之が適當なる指導取締を爲す方針である

滿洲國皇帝陛下 愈々今朝神戶御發港

＝輝く大使命を御達成＝

【神戶國通】滿洲國皇帝陛下には去る六日御來訪以來御滯在二旬、日滿親善の重き御使命をこゝに果させ給ひ源平盛衰の夢を結ぶ名跡須磨のほとり武庫離宮に最後の御休養の日を過させられたが、廿三日午前九時離宮を御出門、沿道數十萬の學生其他各團体奉送の裡を自動車鹵簿にて同九時半港內第四突堤QR岸壁に御着、御召艦比叡に御乘艦、同十時神戶港を解纜する皇禮砲裡に三警衛艦に護られて御歸航の途に就かせられる、かくて午後は香川縣栗島沖に御假泊、御網を御覽遊ばされ二十四日は安藝の嚴島に御寄航、嚴島神社御參拜の上同夜は廣島縣の燈籠流しや仕掛花火等の催しを御召艦より御覽遊ばされつゝ一路大連に向はせられる御豫定である、顧みれば皇帝陛下には日滿兩國の友好史上に久遠の金字を刻み堅く和平の礎石を固めさせ給ふべく去る四月二日三千萬滿洲國民歡呼の裡に新京御出發、櫻花爛漫として咲き誇る日本に御來訪あらせられ、その間 天皇陛下に御對面親しく建國以來の深き緣と盟邦の厚き信義とを彌深め給ふたほか明治神宮に御參拜、續いて建國の人柱となつた勇士の英靈の永へに眠る靖國神社を、また奧多摩の靈地に大正天皇の御陵を御參拜遊ばされ更に若草萌ゆる代々木原頭に展開された軍國日本陸軍の豪華繪巻特命近衛師團の觀兵式を御親閱遊ばされる等御多忙な帝都の御日程を終へさせられて十五日東京御出發、春麗らかな京洛の地を訪はせられ、桃山御陵、平安神宮に御參拜、京都御所、二條離宮及金閣寺を御巡覽、更に殘んの八重櫻咲き染む古都奈良の都を御巡歷、こゝにわが皇室を始め朝野との御交驩の御日程を御恙もなく終へさせられ東洋平和永遠の礎石を築かせられたのであつた

今日の御日程

午前九時半御乘艦、御召艦第四號繫船岸壁碇泊、QR上屋と上屋間で自動車御下車御乘艦、正式奉迎者の外從四位勳三等以上御見送り知事、市長稅關長、所在防備戰隊司令官海軍神戶監督長、丁公使艦上賜謁、午前十時御出港、一方岸壁にて皇帝陛下日本御退去のメッセージ發表、此際皇禮砲、登舷禮等の儀禮を以て奉送、午後五時半栗島御假泊網御覽（香川縣知事御召艦伺候）同六時半御發

臺灣震災に 御傷心の陛下

【神戶國通】滿洲國皇帝陛下には廿一日の臺灣の大震災につき深く御傷心遊ばされ、廿二日も側近者を通じて兵庫縣に達した被害狀況に關する公報を御聽取になつたが同日宮內府式部職を通じ 天皇陛下に御鄭重な御見舞の電報を御發送あらせられた

皇帝御下賜金 救恤、社會事業に充當

【東京國通】既報の如く滿洲國皇帝より御下賜あらせられた十五萬圓の使途に關しては內務省社會局に於てこれが具体案考究中であつたが、皇帝の御主旨を戴して救恤及び社會事業振興の費に充つる事に決定した、尙配當金額は左の如し

救恤事業 七萬五千圓
社會事業 七萬五千圓

滿洲國記者團 大連歸着

【大連國通】滿洲國皇帝陛下御訪日を機會に滿洲國總務廳情報處主催、軍、大使館後援で日本訪問滿洲國記者團を組織、去る三日奉天を出發した記者團約八名は二十二日入港の吉林丸で情報處事務官桃任氏、小濱繁氏に引率され歸滿、直ちに宿舍ヤマトホテルに向つたが着連に際し日本語の達者な侯小飛氏は左の如く語つた

今回日本內地視察に出かけ特に印象を深くした感想は先づ我が皇帝陛下の御渡日に對する日本官民の奉迎振りが豫想以上に盛大で恰も誠實溢るゝばかりのものがあつたといふ事で、又觀兵式を拜觀した際兩國元首が代々木原頭に御並びになつた御姿を拜した時、日滿親善の象徵とも申上ぐべき心からの感銘を受けた事です第二には日本の文化文明が我々の豫想以上に進步してゐる事で我國の指導國として洵に力强く感じました、我々に對しても關係各方面では非常に歡待を示してくれ、感謝に堪へない次第です、東京では林陸相、廣田外相に御會ひし岡田首相にも御多忙中特に暇を割いて頂いて御眼にかゝりました我々一行は日本は初めてで先進日本の世界的地位を目のあたり見る事が出來嬉ばしい次第でした

皇帝御歸京奉迎の 官民有志の位置

來る二十七日、二旬に亘る御旅程を了へさせられて國都新京に御歸還あらせられる滿洲國皇帝陛下を奉迎したてまつる在京官民有志の奉迎位置は大体次の通りである即ち驛構內奉迎者は

日本側 高等官以上及其他特に通達する官民有志
滿洲國側 薦任官以上および其他特に通達する官民有志

で、軍樂隊、特任官および勅任官は到着フォームにおいて奉迎申し上げ、發車フォーム改札口より東側には滿洲國側簡任官、薦任官その他官民有志、同西側には日本側軍部將校同相當官、高等文官および官民有志、新聞記者班、同寫眞班およびラヂオ放送班の奉迎位置が設けられるはずで構內奉迎者は同日午後五時までに所定位置に集合を終ることゝなつてゐる、なほ驛前廣場には中央に儀仗隊、東側ツーリストビューローの前に滿洲國側委任官、つづいて中央通りには滿洲國軍隊同學校生徒および一般團体、西側には日本側官民有志をはじめ學校及び一般團体の奉迎者の群で埋め盡され盟邦日本御訪問の御旅を恙なく了へせられた陛下の龍顏を拜する次第鹵簿通過沿道における奉迎者は當日午後四時三十分までに所定の位置に集合し同四時五十分までに整列を了ることとなつてゐる

中央地方の 防疫打合會開催

民政部衞生司では曩に防疫聯合會に於て決定をみたペスト恒久策案の實行方法につき地方當局に示達するのと本年の惡疫流行期に對處する爲中央地方機關の打合會を來る廿六日午前十時から民政部に開催するが出席者は本部から清水總務司長、張衞生司長以下衞生司各科長、地方より衞生廳科長、並に蒙政部各關係者で議題は

一、ペスト恒久對策の實行方針
一、各施設
一、中央地方及び發生地の連絡
一、發生地に於ける應急對策
一、防疫事務所の技術的研究

等でペストの恒久對策は官制に基く委員組織に依る實行機關が將來その衝に當るが對策諸施設は早急を要す問題であるから官制の公布を待たずどしどし實行に移される筈で康德二年度豫算も之が所要經費五十萬餘が計上されるものと見られる

防疫吏を 官吏として採用

滿洲のペスト撲滅は恒久對策確立と實行機關の設立に依つて活潑なる活動に入るが、機關の整備諸施設の完成も當事者の陣容整はねば效果擧げ難しとし民政部衞生司では從來臨時に雇傭してゐた防疫吏を今後滿洲國官吏として職場の安定を得させ各其方面の專門技術家を採用して陣容を整へる事に方針を決定し、それに必要な防疫職員令の制定をなすべく目下成案作成中であるから近く法制局に回附されるものとみられる

三浦碌郎氏 着任

關東局文書課長兼行政課長三浦碌郎氏は二十二日午後五時三十分着あじあで局員多數の出迎へをうけ着任した

偶語

本社主催、新京野球大會は來る二十五日から西公園球場で開催される、今年は參加八チームに上る盛況である▼昨年第一回を開いたところ各方面の非常なる人氣を呼んだが本年は更に一層活況を豫想されるに至つたのは主催者として本社の望外の喜びである▼日滿對抗試合は兎もかくとして、硬式野球としては新京で唯一の本大會が將來ますます盛んになることは疑ひなく、各出場選手諸君の健鬪を祈つて止まない▼「時間嚴守」の本社の提唱、早速反響あつて定刻に始めることになつたのは誠に愉快だ、今後は公的の會合はもちろん悉ゆる場合にぜひかうありたい▼吾等は繰り返していふが正確な時間を無視する者は公衆利益の破壞者である、その迷惑するところ實に甚だしい▼この際不名譽なる「新京時間」を永久になくしたいものだ

人事往來

▲三浦碌郎氏（關東局文書課長兼行政課長）二十二日午後着任
▲窪井參與官（海軍省）同來京ヤマトホテル投宿
▲吉田中將（同軍務局長）同ヤマトホテル投宿

社説

能動的精神の問題

日常性と世界歴史性の統一

近時の日本の論壇に於いて盛んに論議せられたものは、いはゆる能動的精神、行動主義の問題である。これが一般の注意を惹いたのは、日本のインテリゲンチヤの精神的状況に重要な變化を生じたかのやうに考へられた點にあつた。それまでは知識階級の不安といふものが多くの人々を捉へてゐたのである。だがいふところの能動的精神、或は行動主義はかかるインテリゲンチヤの不安を克服し得るものであらうか？

◇

現代の不安とは何か？それは單なる憂欝、恐怖、焦燥ではない。現實逃避、厭世觀、虚無主義等々でもない。突きつめた見方は、不安そのものが實は自由な、冒險的な探究の精神であることを發見する。それは與へられた現實に服從しないでそれに反抗することから生ずる。その中にすでに能動的精神は含まれてゐるのである。アンドレ、ベルジュは言つてゐる「不安とは殆どつねに思想の相剋、前人未踏の地への前侵の企圖を伴ふ感情の状態である。時代との鬪爭、特に傳統に對する反抗は不安の感情から切離されぬ問題であるかに思はれる」と。

◇

問題は本質的に人間を主題とする。ジイドの言葉「人間といふものは、長い間、永久に發見すべきものとして殘つて居り、將來に於いてもまたさうであらう」を考ふべきである。人間といふ語は二重の意味を持つてゐる。內的なそれと外的なそれである。能動的精神はこの二重性の統一を求めんとするものである。これを人間性と社會性との統一と言ふことも出來る、思想の血肉化、思想の人間化といふことも出來る。そしてこのやうな人間の存在の兩面、外部と內部とを同時に見得るのは行動の觀點からである。人格の本質は統一である、また全体性への傾向である。この統一は知性をもつて形作られる。しかし行動の見地こそ初めて人間を彼の全体と獨自の現實性とに於いて捉へることを可能ならしめるのである。世界の歷史は大きな芝居に譬へることが出來る。各人はそこでそれぞれの役割を演ずる役者である。ところでこの役割は誰が書くのであるか？役割を與へられたものとして受け取りただそれを演ずるにとどまり得ないところにこそわれわれの不安があるのである。これは別の言葉では、日常性の思想と世界歷史性の思想との對立であるとも言ふことが出來る。そして今日の課題は、日常性と世界歷史性との關聯を正しく設定するといふ點にあるのである

樹木を大切にしませう

犯される街路樹

公德心に缺くる新京人へ

愛護觀念を吹込む

綠化運動が喧しく叫ばれる反面に街路樹を折り取る惡弊がいまなほ失せず、新京附屬地內では中央通をはじめ各街路の樹木が漸次荒されてゆく一方なので地方事務所でも心を痛めてゐる、この原因は一に公德心の缺如によるものだが、このまゝ棄て置く時は遂に枯死するよりほかなく、幾ら手入れしても所詮効果がないので當局でも最近業を煮やし、近く樹木愛護の宣傳ビラを作製、「我家の前にある樹木はたとひ街路樹たりとも自分の樹木として否な我子同樣に愛護して育てゝ貰ひたい」と關係各戶に向け注意することになつたが、現にひどい方面になると一物もないまでに枝葉が切り取られ枯死狀態にあるものも少くない始末である

專賣署關係

諸規定制定公布

專賣事業の確實なる進展を期せん爲曩に勅令を以て專賣署及工場を夫々獨立の官廳とし專賣に關する監督計畫を掌る中央機關と收納、賣下及緝私の現業方面を掌る地方機關とに區別したが財政部は更に廿日部令で專賣署及其の分署の名稱位置、專賣工廠の位置、專賣署緝私員に關する件及專賣署緝私員の定員並に給與及專賣署緝私官及緝私員被服及屬具給與規程に關する件を公布した

專賣署緝私官及緝私員被服及屬具給與規程

第一條　緝私官及緝私員の被服及屬具は別表區分に依り總て代價を以て之を支給す

第二條　被服及屬具の代價は新任又は復職の場合に於ては發令の翌日より退官、退職、休職、轉任又は死亡の場合に於ては其の發令又は死亡の當日迄日割を以て之を支給す

第三條　被服及屬具の代價支給に關しては本令に依るの外文官俸給支給細則を準用す

附　則

本令は康德二年四月一日より之を施行す

康德元年專賣公署訓令第二四號暫行專賣公署所屬緝私員被服給與規程は之を廢止す

（別　表）

區分	緝私官	緝私員
月額	四圓	三圓五角

專賣署緝私員給與に關する件

第一條　緝私員の俸給は二十圓乃至八十圓とす

第二條　緝私員の俸給は之を月俸とす

第三條　緝私員の俸給は在職一年以上に至らざれば增給することを得ず但し月俸四十圓以下の者は此の限りにあらず

第四條　月俸の增給は五圓を超ゆることを得ず

第五條　緝私員免職せられ又は死亡したるときは其の月の俸給全額を其の際支給す但し不都合の所爲ありたるに因り免職せられたるときは發令の日迄を支給し過渡ありたるときは之を追徵す

第六條　病氣の爲執務せざること引續き六十日を超え又は私事の故障に因り執務せざること三十日を超ゆる者は以後俸給の半額を減ず但し公務の爲傷痍を受け若は疾病に罹り又は服忌を受くる者及賜暇休養する者は此の限に在らず

第七條　俸給の支給に關しては本令に依るの外委任官官等俸給令及文官俸給支給細則の例に依る

附　則

本令は康德二年四月一日より施行す

專賣署緝私員の定員に關する件

專賣署緝私員の定員は二百三十人とす

附　則

本令は康德二年四月一日より之を施行す

專賣署緝私員に關する件

康德二年勅令第二十八號專賣署官制施行の際現に專賣公署緝私員の職に在る者は別に辭令を用ひず專賣署緝私員を同俸給を以て命ぜられたるものとす

附　則

本令は康德二年四月一日より之を施行す

專賣工廠の位置に關する件

專賣工廠は之を奉天市に置く

附　則

本令は康德二年四月一日より之を施行す

大同三年財政部令第八號中工場に關する部分は之を廢止す

專賣署名稱位置

名稱	位置
奉天專賣署	奉天市
安東專賣署	安東
營口專賣署	營口
錦州專賣署	錦縣
四平街專賣署	四平街
新京專賣署	新京特別市
吉林專賣署	吉林市
濱江專賣署	哈爾濱特別市
龍江專賣署	齊齊哈爾
熱河專賣署	承德

專賣署之分署

專賣署	名稱	位置
奉天專賣署	山城鎮分署	山城鎮
安東專賣署	長白分署	長白
	臨江分署	臨江
	通化分署	通化
營口專賣署	遼陽分署	遼陽
錦州專賣署	山海關分署	山海關
四平街專賣署	鄭家屯分署	遼源
	洮南分署	洮南
	通遼分署	通遼
吉林專賣署	間島分署	延吉
濱江專賣署	富錦分署	富錦
	依蘭分署	依蘭
	牡丹江分署	牡丹江
	海倫分署	海倫
龍江專賣署	克山分署	克山
	黑河分署	黑河
熱河專賣署	朝陽分署	朝陽
	赤峰分署	赤峰
	平泉分署	平泉
	凌源分署	凌源

滿洲國辭令

給二級俸　司法部理事官　菅原達郎

給四級俸　司法部事務官　瀨下清明

給八級俸（各通）　檢察官　宇都宮綱久

敎員講習所敎授　堀井德五郎

給三級俸　蒙政部技正　倉重四郎

給二級俸　蒙政部事務官　齋藤直友

給六級俸　蒙政部技佐　三浦四郎助

給六級俸　興安南省公署事務官　烏雲達賚

給五級俸　莫力達瓦旗參事官　寺田茂七

巴彥虎右翼旗參事官　中村嚴

給九級俸（各通）康德二年三月一日

任首都警察廳理事官敍薦任四等給六級俸　荒井退造

任哈爾濱警察廳理事官敍薦任五等給八級俸　川手與九郎

任哈爾濱警察廳理事官敍薦任五等給七級俸　松岡一郎

任奉天省公署理事官敍薦任四等六級俸警務廳勤務を命ず　中野四郎

任奉天省公署事務官敍薦任五等給二級俸同上　大塚善吉

任吉林省公署理事官敍薦任四等給五級俸警務廳勤務を命ず　若林邦敏

任吉林省公署理事官敍薦任三等給一級俸同上　曾根忠一

任龍江省公署理事官敍薦任五等級七俸警務廳勤務を命ず　上田秀雄

任熱河省公署督察官敍薦任四　上間辰彥

任濱江省公署理事官敍薦任三等給三級俸警務廳勤務を命ず　山浦公久

任濱江省公署理事官敍薦任三等給四級俸警務廳勤務を命ず　高山一三

任濱江省公署理事官敍薦任四等給二級同上　三谷重忠

任錦州省公署理事官敍薦任四等給二級俸警務廳勤務ヲ命ズ　稻田勝昭

任安東省公署督察官敍薦任五等給三級俸警務廳勤務ヲ命ズ　山中忠吉

任三江省公署警正敍薦任六等給六級俸警務廳勤務ヲ命ズ

新京特別市公署屬官　于開誠

任新京特別市公署理事官敍薦任六等給五級俸總務處勤務ヲ命ズ四月一日　秋吉鄉造

任鑛業監督署理事官敍薦任六等給五級俸四月四日

國務院總務廳屬官　永田亘

同　渡邊重吉

陞敍委任二等（各通）　國務院總務廳技士　矢追又三郎

陞敍委任一等　國務院總務廳技士　內田豐

陞敍委任三等給五級俸三月一日

國務院總務廳屬官　池田和夫

給六級俸　國務院總務廳屬官　羽生三供

同　清水敏雄

給七級俸（各通）　國務院總務廳技士　加藤榮助

給六級俸三月一日　國道局屬官　岡田健一

國道局齊齊哈爾建設轉勤を命ず四月四日

文敎部屬官　岡田七雄

同　川尻伊九

同　柏木寶丸

依願免官四月一日（各通）

任衞生技術廳事務官敍薦任六等給六級俸　高橋鐵雄

康德二年三月二十九日

任國立賽馬場長敍薦任一等給一級俸補ハルピン賽馬場長　徐全勝

康德二年四月五日

黑河省公署警務廳長　大園長喜

兼任特殊警察隊長敍薦任二等

科爾沁右翼前旗參事官　貴島亮

兼任科爾沁右翼後旗參事官敍薦任六等

康德二年四月六日

任法院書記官敍委任三等　法院書記官　公文傳

兼任檢察廳書記官敍委任三等　法院候補書記官　宮島喜廣

任法院書記官敍委任二等給八級俸補奉天高等法院書記官

康德二年二月二十日

任檢察廳繙譯官敍委任三等給月俸八十五圓補新京地方檢察廳繙譯官　鮫島國三

康德二年三月二日

恐怖の練獄（下）

倫敦タイムス記者の　ソヴエート印象記

建設事業に懸る疑問

ソヴエートの弱點

第二次五ケ年計畫の實際ー專門家の手に依つて作れる計畫ーそれ自體ーは立派に出來上つた、然しその實行完成途上にはソヴエート民衆の性格が大きな障害となつて横たはつてゐる、筆者が今回ソヴエート旅行中に得た體驗から言ふとロシア人の天才といふ奴は一朝事ある場合屁の役にも立たないものである、勿論彼等はソヴエート領內に於て一切を拘束しようと努力する赤のテープに身動きならぬ程縛られてゐる、五ケ年計畫の骨組をなすといふべきソヴエート官僚主義は計畫の實行進展を著しく妨げてゐることを見逃すことが出來ない

地方ソヴエートの國民大衆は人柄人品何れも申し分のない紳士ばかりであつたが甚だ殘念なことには誰も彼も時間の觀念をチヨツピリも持ち合せてゐない御連中ばかりであつた、即ち誰一人として正確に約束時間を守れる者はなく迅速敏といふ點からは揃ひも揃つて落伍者ばかりであつた

實際彼等の約束はソヴエート列車時間表の如く間違ひだらけである、勿論彼等はソヴエートの國民大衆は彼等の自由が拘束されてゐなければならないのである、然も夫等の規則たるや殆んど全部が不可解極まるもので例へば非常な努力の末に漸く之を了解するを得たりとするもその瑣末的なることは絕對に許されないのである

と言ふと彼等の自由が據つて以つて保證せらるべき基本的諸原則を一切否認せられ加ふるに無數の瑣末的規則に拘束されてゐなければならないのである、然も夫等の規則たるや殆んど全部が不可解極まるものであるばかりか又蛇足的なることを批判することは絕對に許されないのである

發展途上にある國家として大目に見逃してやらねばならぬ點の多々あるべきは誰しも考へるところであるけれどもソヴエートが現在犯してゐる氣違ひじみた過失非行は同國の發展に聊も寄與するものでないことは之を明記して置く必要がある

軍隊と市民の對蹠的存立

現在ソ聯では軍隊と市民の間に明確顯著な對蹠のあることが見受けられる、兵士の服裝は立派でありスマートでもある、自信に滿ちたその風手にも驕慢の影もない、一言にしてソビエート兵士の態度は可良である、彼等にはその享有するところの特權や政府が爲めにする入營者稱揚の放送宣傳により有頂天となつて居ると言つた樣子が少しも見受けられない、彼等は村人達に入營を祝賀され得意滿面だつた時代の人とは全く別人の様である、要するにロシア兵は自らをよく辨へて居る、彼等は衣食に就いては十二分の待遇を受けて居る上にその在營中は一般人と異り恐怖と言ふものが聊もない譯である

噴火山上のソヴエート

政府の宣傳普及によつて軍國主義的思想はソヴエート國內津々浦々に浸透して居て氣勢旺んなるものがある、だがソヴエートは戰爭は出來得る限り之を避けるであらう、それにも拘らず、彼は最近の極東時局に對應すべく兵備を整へ戰爭氣分を煽ふることに努めたのである、だがこれが假令日ソヴエートに取つて始末に負へぬ難問題となつて殘るであらうことは火を見るより明かである

萬一ソヴエートが內政上の危機を招來した場合、不可解な同國財政が噂通りに不健全なものであることが判明したとき或は又クレムリン宮內部に黨派の分列を見るが如き事態の發生した場合を想像すると現在赤軍が持つ力と人氣は軍人獨裁政治の出現可能性を一笑に附し去るべく餘りに强過ぎるの觀がある

恐怖政治は期待し過ぎると云ふ事實はソヴエート現政權の大失敗である、この恐怖政治が生み出したものは當節外觀は政治的に無關心でも將來何時爆發するか推し知ることの出來ぬ力であり勢力である

商況欄

（四月廿三日後場）

金銀市況

●上海標金　前引　後寄　步

●大連金鈔票　現物　寄付　引　四月廿八日限　寄付　出來高　步　引　出來高

●大連鈔票銀大洋　現物

●奉天國幣對金票　現物　▲四月廿八日限　寄付　引　出來高

爲替相場

▲上海爲替

▲日本向　第一回　賣買　第二回　賣買　第三回　賣買

▲倫敦向

▲紐育向　第一回　賣買　第二回　賣買　第三回

▲大連爲替

▲上海向

▲倫敦向

▲阪神日米爲替　第一回　賣買　不變

▲阪神日英爲替　第一回　賣買　一志二片　三分三　三分五

株式相場

▲大連株式（短期）　寄　引

品新　豆新　鈔新　東新　日產　滿鐵　鐘新

▲奉天株式（短期）　寄　引

滿取新　東新　鐘新　日新　大新　五品　豆甲　電乙　同鐵　滿新　二拓　東亞　東畫　日興　滿毛　滿先　優先

特產市況

●大連大豆　袋込　四月限　五月限　六月限　七月限　八月限

●同　豆粕　現物　四月限　五月限　六月限　七月限　八月限　九月限

●同　豆油　現物　五月限　六月限　七月限　八月限　九月限

●同　高粱　現物　四月限

新京取引所市況

（四月二十二日後場）

●大豆　現物（一石値段）　定期（混合百斤値段）

四月限　五月限　六月限　七月限　八月限

▲哈爾濱大豆　五月限　六月限　七月限

●同　小麥　五月限　六月限　七月限

●高粱　現物　四月限　五月限　六月限　七月限　八月限

●鈔票對金票　二十八日限　十三日限　寄　引　出來高

●國幣對鈔票　二十八日限　十三日限　寄　引　出來高

手形交換（二十二日）　金票　鈔票　國幣

北滿

濱江省下廿七縣を十二、三縣に廢合統一
財政難打開、治安確立のため 民政廳で根本策樹立

【ハルビン支局發】目下濱江公署においては中央政府の縣廢合分置斷行による基礎調査を命ぜられ民政廳が中心となり財政、治安、民族の三つの重點に基き省下各縣の產業民族、政治、經濟等の諸情況を鋭意研究中であるが、その根本方針は左の如くである

一、財政確立。

現在の實態によれば省下廿七縣は徒らにその數のみ多くして、縣財政は極度に窮乏化し、縣行政の維持頗る困難にして、中央の國庫補助に俟たねばならぬ縣が半數以上に達してゐる。之は何に原因してゐるかといふに各縣の行政區劃があまりにも過少にすぎる點にある故に縣行政維持費の負擔力脆弱にして自立的可能性を見出し得ない制度上の缺陷を暴露してゐる。

ある縣の如きは縣税による國民支出は單に縣公署の役員を養ふ人事費に消へてしまふために、縣當局は何等の人民に對する施設を行ひ得ない狀態にある。故に濱江省としては、財政的に自立し得ない縣は行政區劃上之を廢止し、大縣集中主義によつて財政の確立をはからんとしてゐる

二、治安の整備

濱江地區は事變後、いまだに匪賊橫行し治安確立は前途遼遠よるものがあるが、かゝる現狀を打開するには縣を單位として考ふるとき余りにも警備機構が弱小なるを思はしむる。故に討匪工作も遲々として進捗せず地方開發に大なる障害をなしてゐる、之は警備機構弱小なるため縣公署自体で解決をなし得ないがためである。斯る弊害を除去するため警備力の增大をめざして小縣の機構を擴大强化し同じく大縣中心主義によらんとするものである

その實際的方法として、財政確立と密接不可分の關係にある警備機構の整備をなすとして、第一着手として縣の廢合分置による財政的余力を警備費にまわし、現在四十六パーセントにものぼる警備費の遞減をはからんとしてゐる

三、民族問題

歷史、風土習慣の相異による民族問題は同じく縣の廢合分置には考慮さるべきであるが、舊北鐵沿線居住の鮮西亞人は、北鐵接收による政治上の新情勢に王道政治の治下に安住せんとする意志を表明してゐるので此際あまり之を問題とする必要なしとの見地に立つてゐる

問題は北部諸種族の處置如何であるが、これは現狀のまま一區劃のもとに統制さるると考へらる

以上は濱江省の調査根本方針であるが、實際方策として

一、稅制改革

濱江省各縣に於ては行政區劃に縣境が確然としない爲各縣に附屬する僻遠の一部落の如きは隣接各縣の中間に挾まれて二縣乃至三縣より徵稅の取立を受けてゐる狀態を除去するために、行政區劃を確立し、各縣の配置上かゝる事實の惹起を防ぐこととなつた

二、農村改善

匪害、水害及び政治的理由に基き縣財政歲入の大宗たる地租賦課稅は事變後急激に激減し、耕作面積は濱江省管下で事變前の三分の二に轉落してゐる慘狀であるが故かかる狀態を事變前に復活するために擔稅力の回復作として、實業廳が中心となり種々の農林施設の可及的速かなる善處が考慮されてゐる

その一、二をあげれば作附面積の增加作、農業資金の短期融資、畜力不足の補助策、農事改良、優良種苗配給などである

三、區劃の基調

縣境區劃は交通、經濟、人口密度、耕作面積を參考として地勢によりて之を考慮するを妥當とする、而して將來の經濟的發展策を阻害しないことを以て目的とし軍事、外交の兩方面から見て適當する配合をなさねばならぬとしてゐる

結論として之を要するに縣廢合分置策は民力涵養にあるは言を俟たない。その施設改善の目標は國民のため福祉增進の行政區劃改善でなければならぬ、將來は縣を中心とする行政機構を以て地方自治確立を可ならしむる方面に、行政區劃の改革の理想をもつてこなければならぬとしてゐる、

然して王道政治の具現は先づ地方制度確立にあるとするものであり、以上の根本方策により着々研究されてゐるが、現在の廿七縣は制度上全く民度と合致しない點があるに鑑み濱江省はその大部分の縣の財政窮乏打開、治安警備の整備のため大英斷を以て、十二、三縣に廢合統一せんとしてゐる。目下民政廳中澤科長の手許で調査資料の整理をなし、之が具体案の決定を急いでゐるから、來る五月上旬又は中旬開催さるべき全滿總務廳長會議までには濱江省案も決定し發表される運びとなるであらう

北滿特區も廢止か?
既にその存在理由なし 各縣に適當按分すべし

【ハルビン支局發】北滿鐵路讓渡成立、中央部の縣廢合分置による地方行政區劃の變更斷行による二つの理由から、北滿特區の存廢問題が世聽の中心議題とならんとしてゐる

濱江公署では之が存廢に付いて中央の指令により目下鋭意調査資料の蒐集に努力中であるが、民政廳一要人の意見によれば、北鐵が滿洲國により接收され北滿の政治情勢の大變革をもたらした現在では、單に對外的若しくは政治的理由により存在した鐵道沿線地帶に限られた特區行政區域はすべてその存在理由を喪失したものであり宜しくこれを廢止し、各縣に適當按分すべしと言つてゐる、その方策として、行政分處を廢止して之を縣に移管し、從來自治行政を行つてゐたチチハル、滿洲里、昂々溪、ハイラル、綏芬河の自治行政都市の廢止は漸行的に之をなし一先づ省公署直轄の行政機關とすることとし、又特區警察署は一先づ解消して縣公署警務廳をして監督さすなど全般的に行政機構の改革を斷行せんとする、ついで諸文化施設に付いては教育、衞生諸施設はさすが北鐵の經營下にあつたゝめ他省に比較して完備してゐるが、之等施設の取扱如何といふに、教育施設は多額の經費を要するので、今直ちに之を各縣に移管しても徒らに地方財政を刺戟し經費の增大をきたす嫌があるので經費は之を國庫負擔とし省公署を直轄となす方針である

特區行政機構は早晚廢止されるは必然的情勢であるが、濱江省當局者間にも現狀維持、即時廢止の兩論あり、未だいづれにも決定してゐない、されど客觀的情勢は、行政事務の紊雜、經費の膨脹などから濱江省も持余してゐるから廢止さるべきは當然であらう、目下兩論者の私案をつき合はしてその利害得失に付き研究されてゐるから、いづれ近き將來には決定案が出來上るものと觀られる

ハルビン鐵路局の新運賃率改正
廿四日一齊に發表

【ハルビン支局發】北鐵接收後實施された哈爾濱鐵路局の新運賃政策により當市の製粉業者、油房業者、木材業者、石材業者は徹底的の打擊を蒙り、之が打開策として新運賃訂正運動が猛然と抬頭し各業者と哈鐵當局その間に一種の對立狀態を生じその成行きは重視されてゐるが、去る十三日、日本商工會議所主催の運賃問題座談會に於ける伊澤總局次長の言明により、新運賃率は近き將來において合理的に訂正さるべしとの意向あることを知つた各業者は、當局の言明に信頼して一先づ訂正運動を停止して、當局の對策を靜觀してゐる

一方哈爾濱鐵路局では各業者の要望に基き運輸並に經濟調査局が中心となつて、之が改正について協議を重ねてゐたがいよいよ腹案決定し來る廿四日に一齊に發表されることとなつた

その內容については推測を許さないが信ずべき筋からの情報によれば、その改正の要點は左の如きものと見られてゐる

一、遠距離遞減法の採用
一、製粉の原料小麥輸送にある程度の割引をなすこと
一、特殊業者と北鐵間に行はれてゐた被害轉戾制は絕對に復活することはない
一、油房業に付いて言へば原料大豆輸送にある程度の割引をなすこと
一、石材、木材業者に付いては、舊北鐵時代に運搬を受付けたものには相當考慮の余地あるため運賃割戾をなすこと

大体以上の如き要點に立脚してゐると思はれるが要するに哈鐵當局としては接收と同時に實施した新運賃率は決して永久的のものでなく國鐵綜合經營の精前から暫行的に實行したものに過ぎぬので北鐵產業開發に全般的協力をなすことで、改正運賃率は北鐵地方の發展並にその特殊性を考慮に入れ妥當性を得たるものが發表されることとならう

濱江省實業廳 種豚無料配布

【ハルビン支局發】農村對策の一助として濱江省實業部より配給を受けた種豚は、呼蘭、綏化、望奎、巴彥、海倫の五縣に配附し、在來種豚改良をなすこととなつた、右種豚は縣公署から希望農家に無料で貸與し、その成績如何によつて將來は大規模に優良種の飼養を奬勵する計劃である。縣名左の如し

配附數

	呼蘭	綏化	望奎	巴彥	海倫
牡	八	八	七	七	一〇
牝	一	一	—	—	—
計	九	九	七	七	一〇

哈市日本中學校 第一回入學式

【ハルビン支局發】今回當市に新設された哈爾濱日本中學校では廿日午前十時から埠頭區森林街の同校講堂に於て第一回新入生入學式を擧行した

遼源縣の綠化運動

遼源縣に於ては造林提唱綠化運動の目的を以て落葉松樹赤楊白楊樹等苗木を去る十五六七日の三日間に亘り管內學校生徒の手に依り之を勤々吐山に三千本を樹植せしが次で二十一日より公園公園前新舊圖に二千本を植付け且七萬餘本を所屬各學校其他各區に分配植樹せしむることとなつた廿一日には植樹祭を擧行した

東滿

日滿要人暗殺の大陰謀暴露す!
中國共產黨員百十數名檢擧

【吉林國通】去る三月五日以來吉林憲兵隊長安藤少佐を總指揮として吉海沿線磐石に於て行はれた中國共產黨狩りは同月廿四日に至り一段落を告げ、爾來峻嚴な取調べを續行し此程漸く終了したので廿二日一件書類と共に身柄を高等法院に引渡し、同時に吉林憲兵隊より左の如く公表された

鐵路總局工人を中心として組織されてゐる工人會は昭和八年二月一日中國共產黨に加入し黨員の擴張に努める傍ら「反日滿帝國主義」のスローガンの下に昭和八年春以來列車顚覆、乘客の殺戮、線路の破壞等凡ゆる兇行を逞ふし、更に本年に入り嚴重なる當局の目をかすめ、黨員を大擴張し、本夏繁茂期を利用し大々的に反日滿工作、日滿要人の暗殺等々戰慄すべき各種兇行計畫を立て之と同時に鮮女朴漢洗を指導者とする反日婦女會或は共產黨員のリードする農民會等をも徹底的に檢擧取調べをなし吉海沿線の禍根を一掃したので今夏繁茂期を控へて危ぶまれてゐた同沿線の治安完全に確保されるものと信ぜらる今回の一大檢擧の端緒となつたものは一昨年來の列車妨害が專門的な手口であつたのと、最近工人一味に共產黨員が潛入して居るとの情報より吉林憲兵隊磐石分駐所の活動となり此の檢擧に際しては憲兵隊をはじめ領事館警察、滿洲國警察隊鐵路總局、奉天、新京、四平街山の各警務段、〇〇〇隊援隊等多數機關が動員され檢擧された黨員は實に百十數名に達してゐる

尙本件の取調べと共に吉海沿線の滿洲國〇〇中にも多數の黨員潛入し居る事實判明、目下各關係機關と連絡し極秘裡に內偵中で近くこれが徹底的檢擧に着手する筈である

吉林省內農村の春耕貸款要求
實狀に鑑み許容さる

【吉林支局發】冷害水害匪害等の爲め省內農村の疲弊は極度に達し將に春耕期に入らんとする昨今地方農民は資金と食糧との欠乏の爲め空しく天を仰ゐで悲嘆するの外なき窮狀に在るにより、省公署にては曾て係員を各地に派して調査したる原案に基き中央當局に最低額八十三萬元の貸款を申請せしも中央にては全滿に亘る救濟諸新規事業計畫の關係上容易に之れが許可を與ふる色見えず、左ればとて、當省の實狀よりすれば此儘推移すれば良民の匪化も亦免がれず、治安維持上にも非常な支障を來す恐れあることが豫想されるので、實業廳花田事務官、省署盛財務科長等は民政部に出頭し具さに說明を加へて極力懇願せし結果、貸款要求額八十三元の約五分の二に當る三十四萬元と、外に磐石縣に三萬五千元合計三十七萬五千元が大体許容され兩三日中に正式決定を見ることゝなつたにつき、兎も角も指令のあり次第之れだけの金額を按配して救濟資金に充てることとなつた

吉林の植樹節

【吉林支局發】帝制實施一周年を記念し併せて植樹思想涵養の爲め實業部にて全滿に頒布せし唐松及びハンノキ三百萬本の內、吉林省に割當ての五十萬本は此程到着したので、豫定の通り北山の三十三萬本を始めとし省城各學校、各縣城等に配給植樹させることゝなつたが二十一日は穀雨節に當り各地一齊に此日を以て植樹の式典を擧ぐることゝなり、當地に於て二十一日午前十時より江南省立農事試驗場に一般官民を招待し盛大なる式を擧行した

吉林工藝展 本社に禮狀

吉林省立工藝講習所では先般新京に於いて同所成品の展覽會を開催、豫想以上の好成績を收めたが、尙今後に於ける指導並に聲援に就いて理解ある本社宛禮狀を寄せるところがあつた

圖們体育會 近く發會式

【間島支局發】漸く陽春を迎へ各地に運動熱が傳へられる時圖們にては朝鮮人民會長金尙鎬、林承烈外十數氏糾合して圖們体育會設立運動が起り既に當局への届出を終り近く發會式を擧行するの運びに到つた模樣である

飯尾氏夫人

【敦化支局發】敦化滿鐵農事試作場勤務滿鐵社員飯尾諭氏夫人きみ子さん(二二)は三月十日長男彰君を出產產後の肥立ち惡しく十七日午前二時半遂に死去、葬儀は十八日各地社員町內會その他有志多數參列西本願寺に於て

南滿

錦州の植樹節

【錦州支局發】錦州省公署では全滿に亘り一齊に擧行された植樹節當日廿一日午前十時より各官署職員、各學校、團体、官民有志其他關係各機關の出席を得て左記式順により盛大なる植樹式を擧行した

植樹節儀式順序

一、振鈴入場
二、全體肅立向國旗行最敬禮
三、省長訓詞
四、實業廳長講演(植樹節之意義及造林與國計民生之關係)
五、植樹
六、記念撮影
七、禮成
八、振鈴閉式
九、飯宴

子供はどうして學校が嫌ひになる

新入學のお子達に御注意

家庭

小學校一年は其の後に來るべき永い學校生活の第一段でありますから、今度初めて入學した子供さん方にとつて學校が好きか嫌ひか、愉快な所か不愉快な所かは極めて重大な問題です、未だ

學校生活

の經驗のない子供であつても「八つになつたら學校へ行く…」と指折り數へて、一年も二年も或ひはもつと前から樂しみにしてゐる程學校といふものは子供にとつて一つの憧憬であるのですから、大抵のものは入學當初は喜び勇んで登校します

特別な羞みやか、人間嫌ひか多人數をいやがる性質の子供でない限り、入學當時は以時よりも生活が規則立つて元氣になるものです

（一）規則正しく嬉々として食事をしない子
（二）寢起きの惡い子
（三）登校時にうき〳〵と出て行かぬ子

等は何か學校か或は學校に

關連して

面白くないことがあるものです規則正しい生活をさせて睡眠を十分にとらせること—之が學校を愉快にさせる第一歩です

朝寢をして一寸遲れたために子供が學校へ行き澁る例など澤山あるものです、又便所へ行く迄に粗相をして學校を嫌ひだす子供もよくゐます、又子供の學用品は必ず近所の友達と同じものにしなければなりません、品質の良否は子供には判らないのですから、外見だけでも同じものにすべきです、持物が級友と異つてゐる爲に學校を嫌ふ

子供の數

は非常なものです

又學校でなにを習つて來た？とうるさく尋ねたり「そんなことをすると先生に叱られますよ」などと絶えず學校や先生を子供の頭に押しつけることも禁物です、そんなことがどんなに子供と學校の關係に眼に見えない惡影響があるか想像の外です、又前に述べた特別に多數の人を嫌ふ羞みやは前以て先生と相談し特別に取扱つて貰はねばなりません

妊娠中の婦人はこんな注意を！

流産し易い

花がほころび初めて來ますと人も自然に浮かれ氣分になつて誰も彼も花見に出かける樣になりますそこで妊娠中の奧さんも我慢が出來ずに行つて見たくなります、處が妊娠中の婦人は殊に、初期の方は餘程の注意をしないととんでもない失敗を招くものです出産間近い婦人だと自分から控へ目にして物見遊山等も注意深くしますが初期ですと兎角不注意に陷り易いものです、そして

花見時には

花見等に行つてもガタ〳〵の自動車に乘つたり、餘り歩き過ぎたりむやみに飲食物、殊に脂肪の强いものを食べてお腹をこはすと流産が起り易くなります、ですからお花見遊山に出かけるにしても、近い處で、自動車や何かに餘り乘らない樣な處を選び、体の疲れ過ぎぬやう又胃腸をこはさぬやうに注意することが肝要です

新京高女 內地旅行便り（六）

宮の下から芦の湖まで

—四月九日—

「おきて下さい」といふ聲がかすかに聞えたが寒むくて、ねむくて起きられない、さつと飛起きる感心な人もゐるが大抵は本當にねむつてゐるのか狸寢をしてゐるのか、うんともすうとも云はない、けれどいくらずう〳〵しくても一時間もはねむられない、しぶ〳〵ながら起きる、寢とぼけた目をしよぼ〳〵させながら縁に出ると山の冷氣と雨がさつと吹きこんできて睡氣をふきとばしてしまつた

瓦屋根の上につや〳〵した緑の木の葉、それが、しつぽりと雨にぬれてゐる「今日も雨ね」とうらめしさうな聲か聞える、雨！雨！雨！私達の旅行は雨の爲に……ほんとに嫌になつてしまふ、昨夜は今朝のすが〳〵しい景色を、そしてあかるい太陽のもとにみどりの葉のそよぐのを夢みてゐたのに—

御飯がすみ縁側へ出た、絹絲の雨がうすみどりの毛せんをうるほしてゐる庭の中にすみきつた池があり色のよい魚が雨をよろこぶかのやうにおよいでゐるのもうらやましい、向ふはかすみにぼんやりと山がみえる、この景色にみとれてゐるともう出發だ

石のごつ〳〵した山道をバスは出かけた、がたんごと〳〵とゆられ〳〵て山をのぼるバスの中はさびしいこの雨に對してあまりにもにぎやかである雨はガラス窓に横なぐりにふりかゝる、兩側はうすぐらい、のぼりつめると一方はきりつめた崖で一方ははてしれない谷底!!そこを急にぐらりとカーブする時のこはい事のぼるにつれてかすみがだん〳〵とかゝつてくる、天氣の日ならばさぞよいながめであらうと思はれる所も今日はぼーつとしてみえない、中腹に行くと曾我兄弟と虎御前の墓があつた

歷史では曾我兄弟は花々しいがそれに比べてこの墓はあまりにもさびしいものであつたこけむした石がぽつりと立つてゐるだけですもの…しばらく行くと櫻の花が道の兩側に

あゝきれいといふ間もあたへず「こゝが三千本も櫻のある名所です」とバスガールの聲

雨にぬれた花瓣は天氣の時の活き〳〵としてゐるのにくらべてその美しさはすこしもかはらない、否、それにまして美しい、見てゐる中に坂をおりはじめた「こゝが昔の箱根の道です」と昔はこゝをチヨンマゲの人々がとほつたかと思ふと道ばたの草にもなつかしみを感じた、突然!!山がくれにきれいな湖がみえた「あゝきれい」

今まで山の中ばかりみてゐた私達の目に、この湖が何んとうつゝたでせうあれが有名な芦の湖です

××

私達のあたへられた室は湖に面したかんじのよい所であつた

「うれしい」といふ聲が所々でおこつた、早速おてんば連中ボートにのる事を先生にたのんだが駄目だつた、こゝでなつかしのふるさとにおたよりをする人、大聲で本をよむ人、むしや〳〵とまずたべる人、あまりのうつくしさにたへかねて傘をさして湖の近くまで行く人も少くない、水の中には可愛いい水鳥がおよいでゐる、ぽつり〳〵とすゝりなくかのやうにふるへて雨は落ちる、底はみとほしですいつけられそうだ、この時だけは雨の美しさがしみ〴〵と感ぜられた、こゝで今までのつかれをやすめて一時半頃から熱海へ行くことになつてゐるのです（松崎正子記）

元箱根—熱海

—四月九日—

どこに行つても雨ばかりで豫定どほり一寸も進まない

松坂屋旅館を一時半頃バスで出發した、箱根の町はぼんやりしてゐる中に過ぎてゐた

箱根峠は素性よく育つた杉が澤山列を正して立つてゐる、なんだか昔の旅人達が籠に乘つてこの並木道を通つて行く姿が目の前にちらつく樣である

鞍掛口は晴れた日ならばあの日本一世界一の美しい富士山が見えるそうだつたが今日はおしい事に細い雨が降り霧が深くて一目も見ずに過ぎた、バスガールが私達をなぐさめる樣におしい事だおしい事だと繰返して云つてゐた、池の平はキャンプやピクニックに好い所だそうだがバスの中ではそんなにも見えなかつた

盜人廐は昔二つの村境に馬盜人がゐて一つの村で馬を盜み隣の村で賣り賣つた馬を又盜んで隣の村にとしてゐる中につかまへられたといふ有名な御話があつたそうだ、其盜人が馬を隱してゐたといふ場所もバスの中から見た

十國峠は海拔三千米で車はだん〳〵下り熱海に近づいてゐた道は曲りに曲り急勾配、熱海町に入り一里茶屋の前を過ぎて熱海の海岸をバスの中から眺ながらあの金色夜叉の貫一お宮の碑を見て熱海驛に着いた、下りた時はまだ空はどんより曇つてゐてすゝり泣く樣に雨がショボ〳〵と降つてゐた、熱海は濕泉が凡そ二百ケ所あつていろ〳〵の病がなほるとか、こゝにある旅館は大小合せて八十幾間

丹那トンネルは工事をはじめてから十四五年目に出來上り人員三萬人を要したと言はれるが、それが汽車で通ると七分位で過ぎてしまつた十四、五年もの長い月日が掛つてやつと昨年十二月に出來上つたといふトンネルに何千人と云ふ犧牲を出したと云ふ何かしら有難い感じがするのであつた（松本トラ子記）

朗らか小父さん

映画と演藝

左うちわ

廿七日より長春座上映

待望の五所、伏見のコンビになる御前樣シリーズ第一回作品「左團扇」は來る二十七日より長春座のエクランを飾る予定であるが、五所のよき一面を物語る野心篇として、ファンの關心を唆るものがある、主演者は大日方傳と高杉早苗

今日の銀幕街

▲新京キネマ—夏川靜江、島耕二の「未來花」前後篇、伏見直江の「心の血煙」
▲長春座—エトナ映畫「鐵の爪」後篇、市太プロ第二部作、市川百々之助の「悲戀勝闘」、阪東好太郎の「旅の風來坊」
▲帝都キネマ—ブラウンの「爆笑隊」、小杉勇の「熱風」阪東妻三郎の「雲霧陷魔帖」後篇（寫眞は「ブラウンの爆笑隊」のシーン）

これに齊藤達雄、阪本武、飯田蝶子、突貫小僧等の良き助演者が活躍する春の快作一ッ

今日の献立

朝 △味噌汁＝茹でた筍を短册に切つて入れます

晝 △冷奴＝豆腐を奴に切り、水に冷しておき、晒葱と花がつをとを藥味として、醤油で頂きます

晩 △お煮〆＝生揚を五分角ぐらゐに切り、熱湯をかけて、油氣を脫き、筍は茹でて小口切りとし、蓮根は皮をむいて、斜に切り、さつと茹でておきます 鍋に煎出汁一合と醤油五勺、砂糖大匙一杯を入れて煮立て生揚げ、蓮根、筍を入れて味よく煮しめます
△三つ葉の玉子とぢ—三つ葉は根を切り取つて、よく洗ひ熱湯でさつと茹で、水に取つて冷し、五分ぐらゐに切つておきます、鍋に煮出汁を五分ほど入れ、煮立つたら、醤油大匙一杯と食鹽少しを入れて味加減を見、三つ葉を入れ、玉子を割つてよくほぐし、三つ葉の土から細く流し込み蓋を被せて一と煮立ちしたら、火を止めます

學藝欄

善意ある母
野上彌生子「娘への手紙」（婦人公論）を評す
星野てつ

野上彌生子—この名は、お婆さん型の女性ばかりがのさばつてゐる現代日本の文化界で一種淸新な感じを與へる、その通作「眞知子」が結局インテリ文學に局限されたものであつたとしても、時代への敏感な洞察と、その包擁力のある理解力とには尊敬を捧げて良かつた、いま「婦人公論」にその「娘への手紙」を見る此處にも女史の新しい時代といふものに對する、又新らしい娘といふものに對する行き屆いた理解がうかがはれる

母さんたちの娘のころにはまだしも氣樂な夢が見られたかと思ひます、經濟的な意味からでもまだそれほど一般的な喩しさはなかつたし、思想的にはまた個人主義の立ち場から自己の完成と云ふことが唯一の目標であつたのだから、それはどうかすると夢と連鎖をもつてゐました……

この中にもそれは知られる、所で女史が學校を出た娘に與へる言葉は「汝みづからを知れ」である、彼女が現代の社會には、若いあなた達の新しい演技で、新しい解釋で、新しい装置や、照明ではじめて上演されなければならない脚本がどつさりある……

と言ふとき若い世代への待望が鼓舞として示されてゐる、私をして言はしめるなら、このやうに觀念的でなしに、もつと具體的に希望したい諸點がある、若い夢にあこがれるその年頃の女性にとつては、むしろ現實的なものをこそ與ふべきであらう、學園に、家庭にとぢこめられてゐる間、このことは實現されない、娘への手紙は更に書き綴けらるべきである

爆撃機
戀とは斯くの如きものか

「日滿春秋」四月號で「くれ乙葉」といふ人の「戀の眼」といふ作品を讀んだ、何でも北滿の特務機關の相當な地位にあるといふ青年が大連の從妹の所にまでいとも柔しく結婚を申込む、女の父親が天理教で入婿だから彼にも天理教になつて貰はねばならんと頑張つて話は進行しない、娘はそれほど愛してもゐない彼に諾の返事をする氣にはなれない、この弱い青年は默して去る、そのあとで娘涙を浮べてやはり私はあの人が好きなんだ、今度は熱烈な手紙を上げますわとつぶやく…といふ筋

×

ただそれだけをいかにも乙女らしく書き流してある、その限りで別に惡い所はない、でも、一九三五年の現代女性にして、この作品はまたあまりにもおとなしすぎる、それ戀とは斯くの如きものでもあらうが、それにしても當代の社會評論雜誌の創作欄を飾るべき代物ぢやない、助けてくれ乙葉！（二十一回猛士）

旅行便り（十）
新京商業學校

箱根から—第十二信—

高所は夜明けが早い午前六時半既に太陽は旅館の窓より春の微熱を我等に投げてゐる、內地に來て三度目の晴天だ喜び勇んでケーブルカーにて早雲山に登り徒歩にて湖尻に向ふ

お丶高山の朝の靜けさよ！今迄電車自動車等文明の利器になやまされて來た我等には余りに靜か過ぎて不氣味である大陸的の我等には此の箱根は最適の處ではなからうか……久しぶりでのび〳〵としてゆつくり歩けた

早雲山を下る途中谷といふ谷は皆、白い煙に包まれてゐる皆高い所だから雲が下りてゐるのだらう位に考へてゐた所近くに來て硫黄をかぎ始めて溫泉の煙だと知る滿洲では見られぬ此の煙、修學旅行の有難さが今更の如く感ぜられる卵の腐敗した樣な硫黄鼻を衝き細霧衣を濡ほし凄慘の氣慄然と逼り怖しくて走つて通つた、後で聽けば是れが世上有名な大涌谷噴煙だと云ふ事だ二十町程登ると疲れて荒い息をし頂上を見上げて悲觀してゐる者もある、噴煙をくぐり岩石をよじ千丈も有るかと思はれる深谷を眼下に見下しながら苦心の末ようやく峠に到達す、此れから下り坂だと喜び前方を見れば雪を戴いて雲上より頭をのぞかせてゐる山がある、是れぞ日本一の麗峰であり高山である所の富士山だ、富士だ!!富士が見えた!!の聲は山鳴り谷答へ天下の險箱根山を搖がすかと思はれた雪を戴き眺望の良い箱根も雪の衣を着美しき雲を率ゐ繪よりも美しい富士には足許にも及ばないであらう、流石に日本を表徴し皆々大聲で見えた〳〵と騒いだのも當然である我が京商の修學旅行團は毎年何の因果か富士山は見られなかつたそうである、然るに見よ連日の雨で我等も富士は見られぬと、あきらめてゐたのに、不思議や珍しい程の晴天に麗峯を開放されたとは感謝にたへない、天は我が京商を見捨てはしない、と思はれる

麗峰富士を前に僕は斯う感じた「滿洲の小學校も內地旅行を實行せよと」是れには台灣等の小學校は早くよりめざめてゐる樣である、京都より一所だつた新竹小學校の如きは我等より旅行日數も多いそして我等より多く日本を見て歸るのではなからうか！豫定に從つて見學する我等は長時間富士を眺めてゐる事が出來ないのですぐ山を下る、十數分にして海ならぬ湖、芦の湖が眼下に出現する、前に麗峰、下に麗湖を眺めて疲れも何も忘れてしまつた我等の旅行は眞にめぐまれたりと云ひ得るであらう

深さ四十五米あると云ふ芦の湖に富嶽の秀峰が逆に映じてゐるのも捨てがたい美しいものである、我等は小汽船函嶺丸にて倒富士の濱を通り、水中に嚴島神社の樣な九頭龍明神の赤い鳥居を眺めつゝ元箱根に着き國幣小社箱根神社に參拜す

曾我兄弟を祭る曾我神社は特に目を引いた、歸つて晝食をすましバスにて十國峠を經て熱海に向ふ、箱根街道の杉並木を賞しつゝ關所跡に出た、德川亡びて七十年今はわずかに華かなりし頃の關所の石垣と「箱根關跡」としるせる石碑のみが夕日をあびて淋しく立つてゐる、關所の跡は畠となり百姓の鍬の音がする

箱根町を過ぎ箱根峠にかゝる此の邊が一番景色の好い所と聽く、來りし方を振返れば小さく箱根町の西洋造りの旅館が見へ右下には蘆の湖が入江の樣であり成程と思はれる、十國峠に入る右左に航空燈台氣象觀測所等を見る、特に自動車專用道路の立派なのに驚く又富士が見へかくれについて來るのも格別だ、專用道路を出でて縣道に入る造材の美しさに驚く、未だ木は大きくはないけれども……

熱海峠にかゝれば駿河灣を望む、山から見る海も又繪の樣だバスは曲り〳〵つて溫泉の都熱海に着く、一時間の散歩である古歌の樣に熱海の海岸を……お宮の松、金色夜叉の碑を見て小說も力あるものだと感じた

熱海は石垣とセメントで出來てゐる樣な町であり驛はトンネルとトンネルの間の小さな所である名古屋行きに乘ると直ちに日本一のトンネル丹那へかゝる、流石に外に出るのには長い間かゝつた、右に見へかくれについて來る富士、左に田子の浦を眺めつゝ工業都市名古屋へ向つて我等は驀進してゐる（遜竹生）

ソヴエート最近の音樂界（一）

ソヴエート聯邦の音樂生活は、過去十七年間に幾多の困難や支障と闘ひながら今やそのあらゆる分野に亘つて最も輝しい展開期に到達することが出來た、このことは全聯邦作曲家同盟の新組織及びその積極的な活動を契機とし、我々の前に確定的な事實として色々な資料を提示してゐる、實際のところこの新しい組織の華々しい全面的な活動を見ないで、現在のソ聯の音樂生活を考へることは無駄であり、またその內容に觸れることは不可能である

ソヴエート作曲家同盟

一九三二年四月、從來聯邦各共和國の音樂生活に對する指導的役割をもつて活動を續け來たプロレタリア音樂家聯盟會（アーペーエム）は解消されて新にソヴエート作曲家同盟（エス、スエ、カー）が組織された、この新しい機關は、全聯邦の新興作曲家評論家を中心として結成された最も強力な組織で、先づモスクワに次いでレーニングラードに以下ウクライナ、白ロシア、ジオルジアその他の各共和國の首都に相繼いで開設された

モスクワ本部の組織は文部人民委員會藝術局音樂課の指導支持の下に總裁アルカーヂエフ書記局長ゴロヂンスキ委員ボヤルスキー外約二十名より成り、幹部委員としてアルカーヂフ、ゴロヂンスキー、ゴリデンウイゼル、ミヤスコフスキー、シエバリーン、クレインが擧げられてゐる、何れも今日ソヴエート樂壇を代表する作曲大家及び教授である

ソヴエート作曲家同盟の目標は、新しいソヴエート音樂建設のために各自の思想的技術的進歩を圖り相互扶助協力の下に各目の精神的物質的生活の高揚、大衆の音樂生活向上のために強力なる共同戰線を張ることにある即ち

第一、ソヴエート音樂建設のための理論的研究及び會員相互の新作品檢討、新進作曲家作品批判青少年の作曲研究指導等それ〳〵の部門を設け、專門委員の司會の下に研究會討論會、演奏會研究所、學校等を開く

第二、現代西ヨーロッパ各國音樂的動向、及び作曲傾向技術等に對し專門的な研究をなす

第三、對外文化聯絡協會と協力して外國の音樂家音樂團體と交涉を密接にし通信作品作曲家、演奏家の交換を行ひ音樂研究のため外國留學に對する相互的利便、留學生の交換

第六、民衆の音樂生活向上のため、內外に對するソヴエート作曲家の作品普及のため、國立出版に就て特別の提携をなし、各劇場演奏團體（フイルハアモニーその他）放送局と提携してその曲目編成に際し同盟員の作品を中心とし、出版、演奏、上演による演奏料、放送料、印稅等の收入を確實有利にし、同盟員の生活をより豐富にする！

斯くして作曲家同盟の事業の第一歩として二つの機關誌「ソヴエート音樂」「ムズイカリナヤ、サモヂエヤーチエリースチ」を刊行し、前者は純然たる理論研究の專門雜誌、後者は大衆の音樂教育を目標として、それ〳〵專門委員の手で編輯されてゐる。

同時に同盟內の各部門—例へば音樂部、創作部、青年部、兒童部、大衆部その他の各部內は一齊にそれ〳〵の目標に向つて活動を開始した。各部の研究會演奏會は續々と開かれてゐる。また新に專屬のエスカー四重奏團も組織され演奏を開始してゐる。

赤ペン放送室

先日、統計處と情報處との間の暗い廊下で佐和山一郎君が大內薩雄君を呼びとめてゐた、佐和山君「どうぞよろしく」と言へば大內君「やあ、やあ」とか何とか言つてゐた、佐和山君は「批評はお手柔かに」といふ意味だつたらうが、大內君が「やつつけてやるぞ」とつぶやいたかどうか、大へん暗くて聞えなかつた

×

「月刊滿洲」の城島君相變らず「ゲンコウタノムゼヒ」なんて電報を打つたりあのひねくれた字で「啓。謝。クサメ、アタマ合掌」なんてハガキを寄越して働いてゐる、この熱心さは買つていいね

×

安藤光子君はお嫁に行つた筈だつたが「日滿春秋」を讀むとM、Aと署名して社會時評も鋭い所をやつてゐる、家庭生活報告でもやつて頂戴な

つちふる會吟艸

春の燈や人形の眼はまばたかず　烏秋女
散りしける李の花を掃かしめず　十柿
散るものゝありげに春の燈かな　同
裸木に四月の天となりにけり　麻姑
四月の日そゝげる窓をふきにけり　同
春の燈に人形の着物裁ちにけり　茎女
虻ついて李の花の散る日かな　霜天
四月や夜毎に多き月の暈　同
李散つて島の日和のかたまりぬ　同
春の燈に選り迷ひゐる指輪かな　不來
ひと本の李の花や土の家　汀禾

東洋關係の歐米新著

東洋關係の歐米新著について外國新聞雜誌に散見した所に基きその概要を紹介する

「アジアの再爭」O、ロ、ラスムッセン（ロンドン、ハミツシ、ハミルトン發行）この本の內容は「民族爭覇の分析と、西歐の極東支配撤退を要求する汎アジア主義」とも言ふべきものである、所で歐洲では「分析」といふには偏見が多いと評された、著者は歐洲人でないのかも知れぬ「北支彷徨三年」ロバート、フォーチユン著（上海ユンヴアレテイプレス發行）豪華版で限定千部、著者はスコツトランドの植物學者である、本書はその研究の成果であり、たほその旅行記により內地農村の狀況を知るを得る（S・Y）

◇防空　第十號（四月一日）「ドウーエ將軍空軍至上主義の檢討」「匪賊に代る空賊に對し鐵道防護は如何にすべきや等」（新京新發屯興安大路二八滿洲防空協會發行）

◇旅行情報　四月一日號J、T、B大連支部の機關誌（ジャパン、ツーリスト、ビユーロー大連支部發行二錢）

◇內外經濟情報（四月十五日號）「北滿鐵路讓渡協定之要項」「赴日商工視察團感想錄」等（日滿實業協會滿洲支部發行）

◇青年太陽五月號「楠木正茂」（安岡正篤）「學問とは何か」（吉川英治）「雨讀日本外史」（吉川英治）等（東京市芝區芝公園十二號地四日本青年文化協會發行）

◇少女倶樂部（五月號）

▲滿洲國皇帝陛下御來朝を記念し奉り、皇帝陛下の御仁德を頌讃し「蘭花の譜」一篇を載せてゐる

▲「スポーツ相談會」の記事は時宜を得てゐる

▲鶴見祐輔氏の「ヨハンナのお人形祭大阪落城の日」鈴木彥次郎「銀の夕星」竹田敏彥「孝行先生」佐々木邦「闘ふ巨象」南洋一郎などが新載物中傑出してゐる

▲「あの道この道」吉屋信子「左近右近」吉川英治「お手玉學校」陸奥速男「山猫かづら」千葉省三「勉子の出世」澄川哲朗等々、連載物

▲附錄は組立式の「人形セツト」

◇現代（五月號）

▲大東京解剖座談會は鋭い

▲今月の匿名座談會は小林一三君野武士的な一風變つた風格を見得る

▲松岡洋右君の獅子吼大谷光瑞師の縱橫談「米海軍の大演習物語」は重要記事だ、小汀利得、栗林正修兩君の「此際の利殖金儲はどうしたらよいか」が經濟記事

◇雄辯（五月號）

▲青年雜誌らしく「日本海々戰を偲んで將來の大海戰を思ふ」筆者は平田晉策君

▲他の呼物には「警察署長ザツクバラン座談會」がある

▲澤田謙「日本外交界の五人男」二階堂明「雲足速し全歐の空」「花形選手一人一話集」「法律上から見た男女問題の種々相」「公娼廢止後に來るものとその對策」「拳闘日本の大飛躍」「蔣介石論」…豐富な內容

病弱で悩む方々に お奨めして是ばかりは大変良いと喜ばれます

（ダルマ薬局主　福富秀夫）

何商賣でも同じだと思ひますが、殊に薬局は凡ての点に親切にそして出來るだけ良い品を勉強して御奬めする事が色々の意味に於て大切であると思ひます、その信念から私は親切に良い品を御奬めすると云ふ事を店の目標として居ります、それだけに近頃の様に新らしい薬や榮養剤などが次々と發賣されますと、〝よくお客様から色々の事を尋ねられ、その選擇に困る場合も尠なくありませんが、今迄の經驗に依りますと、常に病弱で悩んで居る方、胃腸の弱い方、神經衰弱で夜分安眠出來ぬ方、貧血冷之性で足腰が冷込む方、肺肋膜の弱い方、根氣衰ろへ息切れがするとか色々な事を云つて来る方々へ何時も滋養強壮剤の養命酒を御奬めして居りますが、養命酒だけは誰人も結果が迚も良いとて喜ばれて居ります。今迄の經驗では榮養剤の類は一時賣れましても余り長續きしませんが、養命酒は實質が良いだけに年々評判になつて月々賣上げも多くなるので、結局實質の良いものでなければ駄目だと私達はお客様から教へられる点が随分多くあります。

尚養命酒試飲御希望の方は、東京市澁谷区上通り四丁目卅四番地養命酒本舗出張所へハガキで申込と誰人へも見本小瓶を無代で送つてくれます。

（寫眞は東京市下谷區萬年町ダルマ薬局の繁昌振り）

本社主催

西公園球場に展く 豪華の大爭覇戰

參加八チームをめぐつて

明後日 硬式野球大會

新京球界の劈頭を飾る本社主催、日滿兩体聯、西山運動具店後援の新京硬式野球大會は愈々廿五日午後四時から西公園球場で花々しく火蓋は切つて落されることになつた、本年の出場チームは昨年第一回の優勝チーム鐵道軍を筆頭に滿鐵地方部OB、滿洲國舊廳舍（總務廳主体）新廳舍（交通部主体）の外新出場の中央銀行電業公司、商業學校を加へての堂々たる八チームで球界の豪華版である、各チームともに敏腕選手を寄せ集めてゐるため榮へある大會優勝旗並に大會優勝カップ、新京体育聯盟寄贈の大優勝楯はいづれが獲得するか興味深いものがあつて試合は全市民から期待されてゐる

昨日の主將會議で 大會遂行事項決定

當日の準備も略々完了す

本社主催新京野球大會主將會議は廿二日午後四時から地方事務所會議室で源川（OB）駒井（地方）高橋（新廳舍）赤木（舊廳舍）鈴木（中央銀行）片岡（電業）淺香（鐵道）の各主將、伊東新京野球部長高橋社會係員、後援西山運動具店主西山壽吉氏、本社細川取材部長、德永記者出席し大會順序、大會委員長並に委員メンバーの交換、試合組合せ審判を左の如く決定した

大會開會は二十五日午後三時三十分、西公園球場で前年の優勝軍鐵道を先頭に舊廳舍（總務廳主催）中央銀行、地方部（地方事務所主体）電業、新廳舍（交通部主体）OB、商業と順次に入場式が行はれ次いで各主將によつて日滿兩國旗掲揚鐵道軍の優勝旗返還、本社長挨拶、古海委員長の試合注意事項發表、試球式同四時舊廳舍對中銀により試合は開始されることになつた

大會役員

會長染谷保藏、委員古海忠之◇委員疋田、沼田、水原、高橋、伊藤、野村、源川、藤戸、細川、德永

◇審判　古賀、淺香（鐵道）杉谷、片岡、行德（電業）二木、岩瀨（中銀）水原、赤松（新廳舍）赤木、高橋（舊廳舍）藤井、川田（鐵道）源川、沼田（OB）

出場八チームのメンバー

各チームメンバー左の如くである

▲OB源川（主）高橋（投）森川（捕）疋田（一）沼田（二）萬澤（三）浦島（遊）源川（左）古海（中）小島（右）

▲舊廳舍高橋（主）深瀨（投）飯塚（捕）赤木、正珠、留札布（一）山田、安松（二）伏見（三）松田（遊）井上（左）松田、中村、片山（中）甘利、花滿、深倉、香西（右）

▲新廳舍水原（主）佐原（投）竹田（捕）水原（一）鈴木（二）赤松（三）西村（遊）木村（左）安業（中）橋本（右）

▲地方駒井（主）竹內、弓澤（投）川田、田村（捕）駒井、林（一）藤井（二）片山（三）川田（茂）（遊）白石、古米（左）大貫、河杉（中）弓澤、伊藤（右）

▲鐵道淺香（主）淺野（投）高橋（捕）藤澤（一）三輪（二）古賀（三）小幡（遊）池田（左）淺香（中）山下（右）岡田、穩狩（補）

▲中央銀行二木（主）坂田水野、二木、山下（投）鈴木、平田、淡ノ輪（捕）坂田（一）中西（二）二木、平田（三）岩瀨（遊）小林、仁田、岡平（左）水田、齋藤（中）齋藤、山家（右）

▲滿洲電業杉谷（主）梅本（投）片岡、吉井（捕）孫、小野（一）佐賀（二）行德、新家（三）吉田（遊）中川（左）梅本（中）杉谷、山本（右）

廿五日から に變更

なほ本大會は二十四日から開始の豫定のところ準備の都合上二十五日に變更された

大會組合せ

- 舊廳舍 對 中銀（二十五日）
- 地方 對 鐵道（二十六日）
- 電業 對 新廳舍（二十七日）
- O B 對 商業（一日）
- 準決勝（二日）（三日）
- 優勝戰（四日）

寫眞は昨日地方事務所會議室に於ける野球大會主將會議

日本留學の 第四回生詮衡

滿洲國文教部に於いては國內教育者の素質向上を期しこれまで三回に亘り全滿小學校教員中より選拔日本へ留學せしめ來つたが近く之が第四回の留學生三十二名を詮衡することになつた、今回は中等學校

折角の日曜行樂を ふいにした狂風

＝風速は最強時十一米七＝

二十一日の日曜は女子庭球コート開き、滿洲國第二回植樹節、西公園、大同公園の散策等市民はそれ〴〵プランの下に繰り出したが午前八時頃から吹き出した風は益々強くなり黄塵を捲いて天日爲めに暗らく折角の日曜日も風のため憎され午後八時頃から十二時にかけて風速十一米七を示し終夜吹きまくつて庭木を倒し廣告塔を倒し相當の被害を與へ二十二日朝になつてやつとやんだ、觀測所の談によれば

例年四月の中旬から五月上旬にかけてこの位の風が吹くことは珍らしくない昨年四月中で一番強かつたのは二十一日の十米二であつた三十一日の風は全滿各地同じ位に吹いてゐるかこれで一時止むだらう

天長の佳辰をトし 關東軍大觀兵式

軍國の春に燦く劍光帽影

來る二十九日天長の佳節に當つて關東軍では同日午前九時から中央通りおよび大同大街のメーンストリートにおいて佐野警備司令官總指揮の下に莊嚴な觀兵式が擧行せられ、空に陸に軍國の春を讃へる豪華繪卷が展開されることゝなつた、出動部隊は

新京警備隊、同守備隊、電信第○○隊、關東軍飛行隊、同自動車隊、衛戍病院（閲兵式のみ）

で全部隊は午前八時三十分閲兵式の位置中央通り富士町一丁目角を右翼とし中央通り東側に西に面して整列し八時五十分整列を終れば南司令官は馬上颯爽と驛前廣場に到着午前九時乘馬閲兵を開始せられ隨從者海軍將校および滿洲國將校も馬上ゆたかに司令官に隨從して、こゝに閲兵終了せば軍司令官は新京神社前の觀閲位置に到り全部隊の分列式が盛大に行はれる、各部隊千島町彌生町一丁目角を通過して分列終了すれば徒步部隊は中央通り東側に入島通り角を右翼として西面し、車輛部隊は徒步部隊の左翼を先頭として大同大街上に北面して二車若くは三車併列の從隊に整列する、時に午前九時二十分關東軍飛行第○○○隊長の指揮する○○機は新京驛上空に銀翼を輝かせ雄壯なる編隊空中分列を開始、中央通りおよび大同大街上空を大同廣場に向つて快翔、南航をつゞけることゝなつてゐる

國際寶石密輸犯 罰金求刑

【東京國通】一昨年秋國際的寶石類密輸事件として騒がれた佛領シリヤ生れフランス人ヌーレタクラに對し廿二日檢事は關稅法違反で罰金百六十五萬三千百四十一圓六十六錢を求刑した

ブラスバンド 近く練習開始

新京地方事務所社會係では今度新京に新設された滿鐵ブラスバンドの樂手二十五名を新京在勤社員中から募集中であつたが早くも四十名を突破し非常な人氣を博してゐる、本社において樂器の仕入、講師の招聘にいつてゐるので音樂の練習開始も來月中には行はれる豫定

……に吸着けやうと言ふ案になるものである

上山草人歸國

ソヴエート映畫十五週年記念祭に聘せられ二月モスコーに行つてゐた映畫俳優上山草人は來る二十五日午前六時二十五分着列車で新京に到着同日午前七時發ひかりで歸國の途につく豫定

東洋体協憲法 改正を懇談

【東京國通】東洋体育協會の根本的憲法改正を企圖する日本体協は來る二十二日の第二回總會を前に十九日午後六時より丸の內中央亭に比島代表イラナン氏及滿洲國代表久保田完三氏を招き松澤、澁谷、櫻井等各專務理事その他各部代表晩餐を共にした後憲法改正の懇談に移り問題視されて居る加盟團体制限に關する憲法改正案協議細目を決定するための審議を行つて十一時三十分散會したが仄聞するところに依れば憲法改正案並に協議細目のある部分は比島側イラナン氏のみの意向を決定し難く且つ比島側の希望條件に反するものであるので二十二日の總會には完全な打合せは至難と觀られ結局今回の總會は協議細則の一部の決定を觀るのみで明年度改めて第三回總會を開き東洋体協の規約を完成するものと觀られてゐる

第二回春季溫習會

二十六 七兩日 公會堂で 藤間藤波會と長唄勢好會

新京花柳界紅適のお師匠さんである藤間勘七郎氏の『藤間藤波會』並に杵屋勢七郎氏の『長唄勢好會』の第二回春季溫習會は、來る二十六、七の兩日午後五時より記念公會堂に於て開催されることになつたが何分當地花街を擧げて力瘤を入れて居り、出演延人員約三百名に上る催しであるから應況を呈するであらうと豫想せられてゐる

尙當日の舞台應援として岡安喜代登幾、清元延寅子、望月太八郎さん達が特別出演することになつて居るが、當日の番組は左の通りである

演奏番組

一、長唄　七福神
一、長唄　娘道成寺
一、長唄　鷺娘
一、長唄　五月雨（新曲）
一、清元　玉屋
一、長唄　供奴
一、長唄　吉原雀
一、長唄　鞍馬山
一、常盤津　山姥
一、清元　お染道行
一、長唄　五色の糸

仝（二日目）

一、清元　花がたみ
一、清元　玉兎
一、長唄　神田祭（新曲百夜草下の卷）
一、長唄　四季の壽
一、長唄　道成寺
一、常盤津　粟餅
一、清元　道行
一、長唄　多摩川
一、長唄　淺妻船
一、長唄　浦島（新曲）
一、清元　保名
一、長唄　五色の糸
一、長唄　千秋樂

磁石の碁盤を あじあに設備

滿鐵の新計畫

【大連國通】滿鐵々道部では列車が動搖しても碁石が飛ばない碁盤と碁石を內地より購入、近く『あじあ』の展望車にデビューして乘客を喜ばせやうと言ふことになつた、右碁盤は磁石で出來て居り碁石の片面に鐵を張り碁石を碁盤

京城勝つ 對東華蹴球

2—1

【京城國通】東華對京城蹴球戰は廿一日午後二時五十五分開始、前半一對一、後半京城一東華〇で結局二對一で京城勝つ、東華チームは廿二日朝平壤に向ひ二試合を行ふ

寄附

市內安田生命大作裕助氏は二十日金二十圓を貧民救濟基金にして貰ひたいと新京署保安係に申出た

安本訓導祖母

市內室町小學校安本訓導のおばあさんは七十八の高齡であつたが二十二日正午死去葬儀は二十三日執行される

外交部の宮川さん、よくダンスホールに現はれて、黒い服を着た子などと踊つてゐます「新京は夜の生活がつまりませんね」と仰言います それもその筈、宮川さんは、あの有名な歌姫宮川美子さんのお兄さんで同じくアメリカ育ちの溫厚な靑年紳士です、勿論日本語よりアメリカ語の方が達者です、難かしい日本語を宮川さんの前で使つてはいけません

室町、西廣場兩校 修學旅行へ

……師範學校の教師をも加へる由である

市內室町小學校六年生及び西廣場小學校五年生は夫々訓導に引率されて二十二日午後四時新京驛發列車で旅大方面へ修學旅行に向つた、尙室町校殘留各學年は二十四日大同公園南新京驛方面へ遠足をなす

學校增設で 本社と打合せ

鯉沼地方係長歸る

小學校の增設問題その他の用件を帶びて大連本社に打合せのため出張中であつた新京地方事務所鯉沼地方係長は二十一日歸任したが

學校增設の必要については縷々述べて來た、それで今から研究しやうといふことになつたが、結局現在の新京の情勢からいつて本年內に二校の增設は當然止むを得ぬものとして本社でも認めて吳れることゝ思ふと語つた

猩紅熱の 防疫打合せ

……ことになつた

最近猩紅熱が全滿的に蔓延してゐるのに鑑み市內各小學校では猩紅熱豫防注射につき二十五日室町小學校に滿鐵衞生課、各小學校衞生關係者集合これが打合せを行ふことゝなつた

ショウウインド裝飾競技會 具体案を協議

昨日記念公會堂で

滿洲電氣協會及電業公司共同主催我社等後援による第五回新京ショーウインド裝飾競技大會は來る五月下旬開催すべく當業者に於て着々準備中であつたが主催後援者等の之に對する打合せ會は二十二日午前十時より公會堂第四會議室に於て開催された、電業公司山口營業課長、輸入組合久末理事を始め商工會議所、新聞社側等二十餘名出席具体案を協議したが會期は五日間とし來る五月二十五日頃よりと略決定詳細は前年に大差なく一般入賞豫想投票參加店早廻り競爭等人氣策も執る事に決定正午解散したが本年は滿人側及ダイヤ街新發屯方面の參加店もあり前年に比し遙年盛會を豫想せられてゐる因に參加料は前年同樣一窓二圓であり申込詳細規定一切は近日決定本紙上に發表の筈である

劉畫伯個展

けふ明日公開

劉榮楓畫伯の滿洲油繪個人展覽會の出品畫百六十點は二十二日午前中に全部陳列を終つたが三百號の大作「赤い夕陽の滿洲」を正面に、鄭總理の肖像畫をはじめ題材を滿洲にとつた力作百六十點を第一、第二兩集會室に配置して同好者の鑑賞を待つてゐる、なほ二十二日は招待日で一般公開は二十三、四の兩日である

六大學リーグ 出場選手

東京六大學野球リーグは二十日から法政對帝大戰によつて火蓋は切つて落された同大會に出場の各校選手は左の如くである（出身校あるは初登錄選手）

【法政】△投鶴津、劉、田子台北一中△捕藤田△一壘原口、早川△二壘稻田鶴岡△三壘笹尾△遊擊中村△外野能城、戸倉、伊藤、廣瀬、秋山△補缺、南、高島、宮武（坂出商）、高潮、渡邊（田陽中）大谷、三森、竹內（松山中）鈴木（靜岡中）、相馬（北海中）

【早大】△投福田、大下、若原△捕室田、鵜飼、藤堂△一壘太田△二壘小島△三壘佐武、高須△遊擊白川△外野竹谷、横山、長野、永澤△補缺今木、鈴木、鶴崎（佐賀中）林、手島、桑原（濱一中）吳（嘉義農）永田（八尾中）河村（誠之中）村瀨（岐阜商）

【明大】△投山脇、田所、折井、吉田△捕迫畑、室井、櫻井△一壘小林利△二壘布谷△三壘水澤△遊擊杉浦△外野尾茂田、廻口、岩本、村上△補缺柴田、恒川、二瓶、坂田、（廣陵中）、角谷、平尾、多々羅（坂出商）、北澤（長野商）小林良、太田（廣島商）

【慶應】△投土井、春日井、飯塚△捕大澤、櫻井△一壘中村、灰山△二壘岡△三壘磯石九里△遊擊勝川、山田△外野中山佐、平桝、本田△補缺加藤、國方、中山佳、岩見（松山商）綱島（慶商）

【立教】△投石澤、宮崎、壇田、影浦、有村△捕山本、別井、成田△一壘高野△二壘浦田△三壘杉田△遊擊北原△外野古岩井、寺內、志摩△補缺黑田、村田、高田（豐浦中）杉山（愛商）坪內、中野（廣陵中）足立（九州學院）田川小林、長崎（舞鶴中）

【帝大】△投篠原、久保田、（弘前）△捕濱野△一壘高橋、磯野△二壘山科、望月△三壘小野（五高）井上（山形）△遊擊池田△外野齋藤、津田（五高）山脇（靜岡）酒井、島田△補缺荒尾（八高）菊地（二高）杉本（一高）千谷（一高）平田（水戶）北島（一高）綠川（靜岡）北岡、山根（水戶）吉川

女人婆羅門

（禁上演映画化）

長田秀雄

西正世志畫

（百二十三）

若い日輪（二）

隣室の客人は、青年町田信也の亂醉に突伏した顔を横から眺めて
「や、還着だ。何うしたんです」
と、驚いて云つた。
「うーむ、苦しい」
「何うした――元氣を出しなさい。顔色がばかに惡いぢやありませんか」
と、いたはるやうにだき抱へた。
「有難う御座います――餘まり步き過ぎまして……」
「不可ないなあ――あれほど注意して置いたのに、我輩の忠告を聞き入れんから、さうなるのぢや、今日の青年は、自分から自分の身體を粗末にする。それで父母に孝養が出來、國家に忠實だと思つとるのかしら、呆れたもんぢや、はつはつはは」
「恐縮です。先生に掛つちや降參です」
青年町田信也は、恐縮した。

隣室の客は、蒲團の座に直つて、
「我輩は何度も云ふ通り。君の父君とは交友の間柄だ。君の父君町田稱藏君とは、我輩が四回目の歐米漫遊の際偶然にも、船室で一緒になつて以來、兄弟同様の仲になつて居る。そうして君と兄さんの高彦君の二人の後見役まで仰せつかつてゐるのぢや。君は、高彦君と違つて、蒲柳の質だ。見るから弱々しいばかりでなく、勞咳といふ不治の病氣を持つてゐる。――少しは自重せんと不可んね」
沁みじみと云つた。
この客人は、見るからに精力絶倫しい威厳の備はつた紳士であつた。そしてこの客人こそ後年白髯を垂れ、九代目團十郎と活歴風の新演劇を創始して明治の演劇界に一大エポツクをつくつた福地櫻痴一郎であつた。
櫻痴は、數回の洋行で、逸早く文明開化の新鮮な空氣を吸收した新人であつた。前にも云つたことがあるとほり、櫻痴福地源一郎は長崎の醫師福地苟庵の子として和蘭陀文明の港長崎に生れ、幼名八十吉と稱してゐたものである。
安政四年有名な蘭通詞名村氏に養はれて稽古通詞となり、後江戸に出て湯島の聖堂に學び、傍ら蘭英學を學修して、新人ぶりを發揮し、安政六年外國奉行支配通辯に擧げられ、幾干もなく支配役に任じて、萬延元年幕府使節竹內下野守にしたがつて、歐洲各地を巡遊した。時に年二十だつた。
歸國後、外國奉行支配調役並に通辯御用頭取となつた。ときに開港鎖國の論、海內に沸騰して、志士間に徒らに横死するものが多かつた。福地源一郎も、暗殺組に狙はれた開國論者の一人であつた。
それで難を大阪に避け、維新後江戸に歸つた。
慶應元年幕府が陸海軍擴張の目的をもつて、柴田日向守を歐米に派遣して視察せしめたとき、源一郎はまた選ばれて隨行し英佛二國を巡遊した。
三年、徳川慶喜が大政を奉還するにあたり、源一郎は見意を建白して善後の處分について述ぶる所があつた。尋で江湖新聞を發行して盛んに時事を論議した。そのため筆禍を蒙つて、官軍糾問所に拘置された事もあつた。明治二年日新社を創めて、著作の傍ら英佛學を教授してゐたが、明治三年大藏少輔伊藤博文に知られて、一等書記官に擢んでられた。
同年芳川顯正に從つてアメリカに赴き、會計理財公債紙幣造幣等について調査するところがあつた。四年はまた岩倉大使に從つて歐米諸國を巡視した。歸朝後明治七年東京日日新聞社長兼主筆となつて、優艶巧妙の筆致をもつて、名聲は海內に嘖々たるものであつた。
明治八年地方官會議開議せらるゝに及んで、太政官出仕に任じたが、すぐ辭して再び東京日日新聞社長となつた。
修禪寺温泉に保養のためやつて來たのは、それから二年後の明治十一年の春であつた。」